

整理番号	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)03中学校費(目)01学校管理費(大事業)02学校管理経費	決算書頁
435 -		321

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	531 子どもたちが、未来に夢や希望を持てる	H16 年度～ R2 年度	01-10-03-01-02-01
	基本事業	⑤ 児童生徒支援事業	担当部署	部・課名等
	事務事業名	一般管理運営経費	教育委員会教育総務課	評価責任者・連絡先
				課長 東 浩一 0595-22-9644

事務事業の概要	対 象	市内中学校		
	目 的	学校運営を支援し、生徒の教育環境を整える		
	内 容	市内中学校の管理運営のため、光燃水費、燃料費等を支出しました。 また、各中学校の状況に応じ、運営に必要な需用費、役務費、修繕料等の配当を行い、健全な学校運営に努めました。		
事業に要した 主な経費 など		経費	金額	摘要
		消耗品費 燃料費 光熱水費 修繕料 通信運搬費 その他事務経費 計	13,097,711円 2,958,143円 43,877,071円 1,803,935円 2,179,066円 516,816円 2,381,419円 66,814,161円	学校配当 学校配当 プロパンガス代 水道料金 電気料金 ガス料金(都市ガス) 旅費 印刷製本費・手数料 その他

	項目	R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接 事業費	国県支出金	0	0	
	地方債	0	0	0	0	
	その他	787	721	426	721	
	一般財源	61,414	69,365	66,388	65,169	
	合計(A)	62,201	70,086	66,814	65,890	
事業費	正規職員	業務量	0.30 人	0.30 人	0.25 人	0.30 人
		人件費	2,339	2,344	1,953	2,330
	再任用職員	業務量	人	人	人	人
		人件費	0	0	0	0
	会計年度任用職員	業務量	人	人	人	人
		人件費		0	0	0
	小計(B)	2,339	2,344	1,953	2,330	
	合計(A+B)	64,540	72,430	68,767	68,220	
	市民1人当たりのコスト(円)	704	800	760	765	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	中学校設置校数		中学校で保健衛生用品を配備するなどの感染症対策実施率	校	目標	10	10	10
					実績	10	10	10
	指標化できない成果		達成		100.0%	100.0%	100.0%	

方向	継続	課題及び改善案	学校施設の運営管理を適正に行うため、節水、節電等に努めている。

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	532 子どもたちが、安心して学べる	H16 年度～ R2 年度	01-10-03-01-02-02
	基本事業	④ 通学対策事業	担当部署	部・課名等
	事務事業名	スクールバス運転管理及び維持経費	教育委員会教育総務課	評価責任者・連絡先 課長 東 浩一 0595-22-9644

事務事業の概要	対象	スクールバス利用生徒		
	目的	安心・安全な通学を確保する		
	内容	<p>直営・業務委託、行政バス利用による中学校スクールバスの運行を行い、生徒の安全な通学の確保に努めるとともに、市所有スクールバスの維持管理を行いました。</p> <p>(直営運行) 上野南中2路線 (委託運行) 崇広中2路線 緑ヶ丘中2路線 城東中2路線 上野南中6路線 大山田中1路線 青山中1路線 (行政バス) 島ヶ原中2路線 青山中3路線</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	運行业務委託料	70,860,251円	スクールバス運行业務委託料	
	燃料費	576,923円		
	修繕料	727,661円		
	使用料及び賃借料	71,100円	土地建物賃借料	
	その他	144,020円	手数料 59,720円	
			自動車損害保険料 26,000円	
			自動車重量税 58,300円	
	計	72,379,955円		

		項目	R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	8,420	0	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 8,419,620円
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	68,244	93,111	63,960	83,671	
		合計(A)	68,244	93,111	72,380	83,671	
事業費	正規職員	業務量	0.55 人	0.55 人	0.55 人	0.55 人	
		人件費	4,288	4,297	4,297	4,271	
	再任用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費	0	0	0	0	
	会計年度任用職員	業務量	人	人	1.68 人	1.68 人	
		人件費		0	3,204	2,682	
	小計(B)		4,288	4,297	7,501	6,953	
合計(A+B)		72,532	97,408	79,881	90,624		
市民1人当たりのコスト(円)		792	1,076	882	1,016		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	登下校時における生徒の事故件数	通学手段として安全である	件	目標	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
指標化できない成果	事故発生件数		達成	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

方向	改善	課題及び改善案
		大部分が運行业務委託料であるため、縮小は難しい。運営方法を含めた経費縮減等検討を行う。

整理番号	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)03中学校費(目)01学校管理費(大事業)02学校管理経費	決算書頁
437 -		321

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	532 子どもたちが、安心して学べる	H16 年度～ R2 年度	01-10-03-01-02-03
	基本事業	② 学校施設整備事業	担当 部署	部・課名等 評価責任者・連絡先
事務事業名	施設維持管理経費		教育委員会教育総務課	課長 東 浩一 0595-22-9644

事務事業の概要	対象	市内中学校		
	目的	生徒の安全を確保し、良好な教育環境を保持する		
	内容	開校中の市内10中学校の施設について、関係法令等に基づき、エレベーター、空調設備、消防設備、自家用電気工作物、浄化槽、遊具、ろ過機等にかかる保守点検を行うとともに、害虫防除業務、受水槽・高架水槽の清掃、剪定・草刈業務のほか、警備業務の委託を行いました。 施設修繕では、空調設備の補修や水回り設備の補修、照明器具の取り替えや、雨漏りの修理などを行いました。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	修繕料	6,659,420円	施設及び器具修繕料	
	委託料	23,861,500円	エレベーター保守点検業務委託料	6,399,360円
			空調設備保守点検業務委託料	3,178,450円
			消防設備等保守点検業務委託料	2,318,800円
			自家用電気工作物保守点検業務委託料	3,136,320円
			浄化槽清掃等保守点検業務委託料	5,658,950円
			ほか	
	その他事務経費	1,627,535円	消耗品費	5,180円
			手数料	278,400円
			機械器具借上料 ほか	621,399円
	計	32,148,455円		

		項目	R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0	その他:保険料	
		地方債	0	0	0	0		
		その他	100	100	100	100		
		一般財源	31,636	31,869	32,049	29,762		
		合計(A)	31,736	31,969	32,149	29,862		
	事業費	正規職員	業務量	0.10 人	0.10 人	0.10 人		0.10 人
			人件費	780	782	782		777
		再任用職員	業務量	人	人	人		人
			人件費	0	0	0		0
		会計年度任用職員	業務量	人	人	人		人
	人件費		0	0	0			
	小計(B)	780	782	782	777			
	合計(A+B)	32,516	32,751	32,931	30,639			
	市民1人当たりのコスト(円)	355	362	364	344			

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	施設事故防止率	全校数における施設事故が発生していない校数の割合	%	目標		100	100	100
				実績	100	100	100	100
指標化できない成果			達成		100.0%	100.0%	100.0%	

方向	継続	課題及び改善案	生徒の安全を確保し、良好な教育環境を保持するために施設の点検、点検結果に基づく補修等を実施しており、継続して適正な管理を実施して行く必要がある。

整理番号	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)03中学校費(目)01学校管理費(大事業)02学校管理経費	決算書頁
438 -		321

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	532 子どもたちが、安心して学べる	H16 年度～ R2 年度	01-10-03-01-02-04
	基本事業	④ 通学対策事業	担当部署	部・課名等
	事務事業名	遠距離通学者等通学経費	教育委員会教育総務課	評価責任者・連絡先
				課長 東 浩一 0595-22-9644

事務事業の概要	対象	遠距離等から通学する児童生徒の保護者		
	目的	義務教育の円滑な運営		
	内容	通学費負担の軽減 ・島ヶ原中学校：行政バスにて登下校する遠距離通学児童の通学費補助(全額負担) ・大山田中学校：三重交通バスにて登下校する遠距離通学生徒の通学費補助(全額負担) ・青山中学校：行政バスにて登下校する遠距離通学児童の通学費補助(全額負担) ・崇広中学校：伊賀鉄道にて登下校する遠距離通学生徒の通学費補助(定期券購入費の4割) ・霊峰中学校、大山田中学校：自転車にて登下校する遠距離通学生徒の通学費補助(年額3,600円) ・阿山中学校：遠距離を登下校する生徒の自転車購入費の補助(上限20,000円)		
事業に要した主な経費など		経費	金額	摘要
		使用料及び賃借料 負担金、補助及び交付金	2,849,800円 1,382,168円	通学バス使用料(島ヶ原、大山田) 遠距離通学費補助金(崇広、霊峰、阿山、大山田)
		計	4,231,968円	

全体コスト(千円)	項目	R元年度決算				R2年度当初予算				R2年度決算				R3年度当初予算				特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		R元年度決算		R2年度当初予算		R2年度決算		R3年度当初予算										
事業費	直接事業費	国県支出金	0		0		0		0									
		地方債	0		0		0		0									
		その他	0		0		0		0									
		一般財源	4,770		5,392		4,232		4,533									
		合計(A)	4,770		5,392		4,232		4,533									
	人件費	正規職員	業務量	0.20 人		0.20 人		0.20 人		0.20 人								
			人件費	1,560		1,563		1,563		1,553								
		再任用職員	業務量	人		人		人		人								
			人件費	0		0		0		0								
		会計年度任用職員	業務量	人		人		人		人								
	人件費	0		0		0		0										
	小計(B)	1,560		1,563		1,563		1,553										
	合計(A+B)	6,330		6,955		5,795		6,086										
	市民1人当たりのコスト(円)	70		77		64		69										

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度				平成30年度				令和元年度				令和2年度			
				目標		実績		目標		実績		目標		実績		目標		実績	
	指標化できない成果	経費負担軽減を目的としているため	達成																

方向	継続	課題及び改善案

整理番号	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)03中学校費(目)01学校管理費(大事業)03学校保健衛生管理経費	決算書頁
439 -		323

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	531 子どもたちが、未来に夢や希望を持てる	H16 年度～ R2 年度	01-10-03-01-03-01
	基本事業	⑤ 児童生徒支援事業	担当部署	部・課名等
事務事業名	健康管理経費		教育委員会教育総務課	評価責任者・連絡先
				課長 東 浩一 0595-22-9644

事務事業の概要	対 象	市立中学校生徒		
	目 的	健全で、安心な教育環境を整え、生徒の健康管理を図る		
	内 容	<p>生徒の健康管理と健康増進を図るため、各中学校に校医、歯科医、薬剤師を委嘱配置し、健康診断をはじめ、専門医検診を行いました。また、環境保全を図るため、飲料水の水質検査等を行いました。</p> <p>各学校の状況に応じ、保健室用の医療品等の購入を行いました。</p> <p>なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためプール授業が中止になったことを受け、例年実施しているプールの水質検査及びプール薬品の購入は行いませんでした。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	報酬	8,816,650円	学校医報酬 4,387,350円 学校歯科医報酬 3,339,300円 学校薬剤師報酬 1,090,000円	
	消耗品費	367,438円	学校配当	
	医薬材料費	346,440円	学校配当	
	手数料	163,900円	水質検査手数料ほか	
	委託料	78,480円	検診業務等委託料	
	報償費	11,100円		
	計	9,784,008円		

項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	9,904	10,042	9,784	9,833
		合計(A)	9,904	10,042	9,784	9,833
事業費	正規職員	業務量	0.05 人	0.05 人	0.04 人	0.05 人
		人件費	390	391	313	389
	再任用職員	業務量	人	人	人	人
		人件費	0	0	0	0
	会計年度任用職員	業務量	人	人	人	人
		人件費		0	0	0
小計(B)	390	391	313	389		
合計(A+B)	10,294	10,433	10,097	10,222		
市民1人当たりのコスト(円)		113	116	112	115	

指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標	学校医・学校歯科医・専門医による検診実施率	中学校での各検診の実施率	%	目標	100	100
				実績	100	100
指標化できない成果		達成		100.0%	100.0%	100.0%

方向	継続	課題及び改善案	健康診断や救急薬品の配備により、子供たちの健やかな育成を図り、適正な学校教育環境を整えるために欠かせない事業である

整理番号	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)03中学校費(目)01学校管理費(大事業)04学校管理用備品整備事業	決算書頁
440 -		323

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	531 子どもたちが、未来に夢や希望を持てる	H16 年度～ R2 年度	01-10-03-01-04-01
	基本事業	⑤ 児童生徒支援事業	担当部署	部・課名等
事務事業名	学校管理用備品整備事業		教育委員会教育総務課	評価責任者・連絡先
				課長 東 浩一 0595-22-9644

事務事業の概要	対象	市内中学校		
	目的	学校備品を整備し、生徒の教育環境を整える		
	内容	教育活動を円滑に行うため、複写機、印刷機のリースを行ったほか、生徒用机・椅子等の購入を行いました。		
事業に要した主な経費など	経費	金額		
	手数料 機械器具借上料 備品購入費	14,300円 1,816,235円 1,189,452円	プリンター引取手数料 複写機等賃貸借料 机・椅子等	
	計	3,019,987円		

項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0
		その他	0	0	0	2,250
		一般財源	3,032	2,764	3,020	2,460
		合計(A)	3,032	2,764	3,020	4,710
事業費	正規職員	業務量	0.18 人	0.18 人	0.15 人	0.18 人
		人件費	1,404	1,406	1,172	1,398
	再任用職員	業務量	人	人	人	人
		人件費	0	0	0	0
	会計年度任用職員	業務量	人	人	人	人
		人件費		0	0	0
	小計(B)	1,404	1,406	1,172	1,398	
合計(A+B)	4,436	4,170	4,192	6,108		
市民1人当たりのコスト(円)		49	47	47	69	

指標名	指標の説明	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標	購入要望校への対応率	%	目標		50.0	50.0	50
			実績	50.0	37.5	28.6	30
指標化できない成果			達成		75.0%	57.2%	60.0%

方向	継続	課題及び改善案	学校施設の充実のため継続して行うことが妥当である。適正な管理、また、経費節減のため、廃校備品を利用するほか、学校間の備品の貸し借り等も考える必要がある。

整理番号	441 -	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)03中学校費(目)01学校管理費(大事業)05施設整備事業	決算書頁	323
------	-------	--	------	-----

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	532 子どもたちが、安心して学べる	H16 年度～ R2 年度	01-10-03-01-05-01
	基本事業	② 学校施設整備事業	担当部署	部・課名等
事務事業名	施設改修事業		教育委員会教育総務課	評価責任者・連絡先 課長 東 浩一 0595-22-9644

事務事業の概要	対象	市内中学校就学生徒		
	目的	学校施設改修により、良好な教育環境整備を図る		
	内容	委託業務において、学校施設の長寿命化計画を策定、緑ヶ丘中学校校舎改修工事の設計業務・青山中学校武道場耐震対策の設計・監理業務を行いました。 施設の改修として、崇広中学校屋内運動場の大規模改修工事、青山中学校の武道場耐震対策工事や柘植中学校高圧機器の修繕および、市内中学校の消防設備、緑ヶ丘中学校他の空調改修を行いました。また、令和3年度に繰越している緑ヶ丘中学校大規模改修工事の前金払いを行いました。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	委託費	11,917,110円	緑ヶ丘中学校校舎棟大規模改修工事実施設計業務委託	4,400,000円
工場請負費	240,735,100円	青山中学校武道場天井耐震対策工事	26,555,100円	ほか
その他事務経費	1,388,150円	柘植中学校高圧機器修繕工事	6,452,600円	
計	254,040,360円	崇広中学校屋内運動場大規模改修工事(建築主体工事)	114,374,700円	
			崇広中学校屋内運動場大規模改修工事(電気工事)	11,270,600円
			緑ヶ丘中学校屋内消火栓設備改修工事	6,237,000円
			緑ヶ丘中学校他1校音楽室空調設備工事	8,052,000円
			緑ヶ丘中学校校舎棟大規模改修工事(前金)	59,850,000円
			崇広中学校屋内運動場大規模改修工事に伴う備品購入	1,120,900円

全体コスト(千円)	項目	R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	0	96,499	
	地方債	7,100	213,600	163,000	11,900	
	その他	0	0	0	0	
	一般財源	17,906	13,427	26,791	2,840	
	合計(A)	25,006	323,526	254,041	14,740	
事業費	正規職員	業務量	0.07 人	0.07 人	0.07 人	0.10 人
		人件費	546	547	547	777
	再任用職員	業務量	人	人	人	人
		人件費	0	0	0	0
	会計年度任用職員	業務量	人	人	人	人
		人件費		0	0	0
	小計(B)	546	547	547	777	
	合計(A+B)	25,552	324,073	254,588	15,517	
	市民1人当たりのコスト(円)	279	3,579	2,811	174	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	施設改修実施件数	年度計画による施設改修校数	校	目標		3	3	3
				実績	3	3	3	3
指標化できない成果			達成		100.0%	100.0%	100.0%	

方向	継続	課題及び改善案	学校施設については、多くが築30年を超え老朽化が進んでいることから、施設について改修する必要がある。こうしたことから、学校施設を可能な限り長期に使用し、施設整備にかかるコストを抑制することを考慮した、施設の長寿命化計画を策定し、適正な施設の改修を実施していきたい。

整理番号	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)03中学校費(目)02教育振興費(大事業)01教育振興経費	決算書頁
442 -		323

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	531 子どもたちが、未来に夢や希望を持てる	H16 年度～ R2 年度	01-10-03-02-01-01
	基本事業	⑤ 児童生徒支援事業	担当部署	部・課名等
	事務事業名	就学奨励費	教育委員会学校教育課	評価責任者・連絡先
				課長 二井 英夫 0595-22-9648

事務事業の概要	対象	要保護又は準要保護に該当する者、特別支援学級に入級する生徒の保護者		
	目的	保護者に就学に必要な経済的援助をすることで、生徒が安心して義務教育を受けることができる		
	内容	1. 学用品、通学用品費、新入学生徒学用品費、通学費、学校給食費、修学旅行費、校外活動費、学校病医療費の給付を行いました。また、市内中学校入学予定の小学校6年生対象児童に入学準備金を支給(75人)しました。 2. 特別支援教育就学奨励費の給付を行いました。		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	扶助費	19,857,505円	学用品通学用品費等給与費(270人) 17,506,806円 学校病医療費(28人) 123,187円 特別支援教育就学奨励費(75人) 2,227,512円	
	計	19,857,505円		

全体コスト(千円)	項目	R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	2,075	3,051	
	地方債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	一般財源	31,422	35,707	18,698	38,167	
	合計(A)	33,497	38,758	19,858	40,781	
事業費	正規職員	業務量	0.30 人	0.45 人	0.45 人	0.23 人
		人件費	2,339	3,515	3,515	1,786
	再任用職員	業務量	人	人	人	人
		人件費	0	0	0	0
	会計年度任用職員	業務量	0.30 人	0.30 人	0.30 人	0.30 人
		人件費	573	573	573	479
	小計(B)	2,912	4,088	4,088	2,265	
	合計(A+B)	36,409	42,846	23,946	43,046	
	市民1人当たりのコスト(円)	398	474	265	483	

指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標	特別支援教育就学奨励費認定者数	人	目標	45	50	50
			実績	57	79	85
指標化できない成果		達成		175.5%	170.0%	150.0%

方向	継続	課題及び改善案	前年度と同様に、離職による特別な事情を考慮して認定するなど、弾力的に対応していく。
----	----	---------	---

整理番号	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)03中学校費(目)02教育振興費(大事業)01教育振興経費	決算書頁
443 -		323

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	531 子どもたちが、未来に夢や希望を持てる	H16 年度～ R2 年度	01-10-03-02-01-02
	基本事業	⑤ 児童生徒支援事業	担当部署	部・課名等
事務事業名	教材・教具整備費		教育委員会教育総務課	評価責任者・連絡先
				課長 東 浩一 0595-22-9644

事務事業の概要	対象	市内中学校		
	目的	教材・教具を整備し、中学校教育の振興の振興を図る		
	内容	各学校の状況に応じ、図書、教材備品、理科教育設備品、特別支援学級用備品、教育課程備品の購入を図りました。また、教具として電算機器、電算ソフトの整備を図ったほか、教育用コンピューターの保守点検、維持管理等を行いました。		
事業に要した主な経費など		経費	金額	摘要
		消耗品費	8,647,149円	教材用消耗品 学校配当
		委託料	4,200,854円	電算機保守点検委託料
		使用料及び賃借料	1,294,476円	回線使用料 1,196,976円
		備品購入費	5,098,734円	物品借上料 97,500円
				図書購入費 学校配当 3,178,889円
				教材備品購入費 学校配当 1,217,520円
				教育課程備品購入費 学校配当 326,950円
				理科教育設備備品購入費 学校配当 337,975円
				特別支援学級用備品購入費 学校配当 37,400円
		その他事務経費	27,500円	修繕料、手数料
		計	19,268,713円	

		項目	R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国庫支出金	198	200	168	200	国庫支出金: 理科教育等設備整備費補助金168,000円 その他: ふるさと応援基金繰入金 550,000円 学校教育費寄付金 20,000円	
		地方債		0	0	0		
		その他	50	0	570	0		
		一般財源	19,893	20,568	18,531	13,222		
		合計(A)	20,141	20,768	19,269	13,422		
	事業費	正規職員	業務量	0.15 人	0.15 人	0.10 人		0.15 人
			人件費	1,170	1,172	782		1,165
		再任用職員	業務量	人	人	人		人
			人件費	0	0	0		0
		会計年度任用職員	業務量	人	人	人		人
	人件費		0	0	0			
	小計(B)	1,170	1,172	782	1,165			
	合計(A+B)	21,311	21,940	20,051	14,587			
	市民1人当たりのコスト(円)	233	243	222	164			

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	学校図書充足率	学校図書館標準に対する学校図書の充足率	%	目標		100	100	100
				実績	107.3	107.3	122.9	117
指標化できない成果			達成		107.3%	122.9%	116.9%	

方向	継続	課題及び改善案	学校教育振興のため継続して行う必要がある。学校図書については、図書標準を上回るよう継続的に充実を図る。

整理番号	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)03中学校費(目)02教育振興費(大事業)01教育振興経費	決算書頁
444 -		323

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	531 子どもたちが、未来に夢や希望を持てる	H16 年度～ R2 年度	01-10-03-02-01-03
	基本事業	⑤ 児童生徒支援事業	担当部署	部・課名等
事務事業名	中学校クラブ遠征参加経費		教育委員会教育総務課	評価責任者・連絡先
				課長 東 浩一 0595-22-9644

事務事業の概要	対象	市立中学で部活動を行っている生徒		
	目的	遠征参加費に負担助成により、学校クラブ活動の推進を図る		
	内容	三重県中学校体育連盟等が主催する体育大会及び三重県中学校吹奏楽連盟等が主催する文化行事への参加旅費を補助し、部活動の推進を図りました。 体育大会参加校 10校 (実績1,154,900円) 文化行事参加校 7校 (実績388,850円)		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	負担金、補助及び交付金	1,543,750円	中学校クラブ遠征参加補助金 体育クラブ 1,154,900円 文化クラブ 388,850円	
	計	1,543,750円		

		項目	R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0		
		地方債	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0		
		一般財源	4,805	4,805	1,544	4,805		
		合計(A)	4,805	4,805	1,544	4,805		
	事業費	正規職員	業務量	0.10 人	0.10 人	0.10 人		0.10 人
			人件費	780	782	782		777
		再任用職員	業務量	人	人	人		人
			人件費	0	0	0		0
		会計年度任用職員	業務量	人	人	人		人
	人件費		0	0	0			
	小計(B)	780	782	782	777			
	合計(A+B)	5,585	5,587	2,326	5,582			
	市民1人当たりのコスト(円)	61	62	26	63			

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	補助対象大会等への旅費に対する補助率	参加者負担に対する補助割合	%	目標		90	90	90
				実績	83.2	85.0	84.8	100
指標化できない成果	遠征参加人数		達成		94.4%	94.2%	111.1%	

方向	継続	課題及び改善案 中体連・県主催の事業のみの登録選手に限る旅費補助であり、練習試合などは保護者負担で行っている。中学生の健全育成のためには、部活動の活性化は必要であり、これらの参加に伴う保護者負担の軽減を図ることは参加機会の保障、参加意欲の向上となり、継続的な事業の推進は必要である。

整理番号 445 -	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)03中学校費(目)03新型コロナウイルス対策費(大)01新型コロナウイルス対策事業	決算書頁 325
---------------	--	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大-中-小-業
	施策	532 子どもたちが、安心して学べる	R2 年度～ R2 年度	01-10-03-03-01-01
	基本事業	② 学校施設整備事業	担当部署	部・課名等
	事務事業名	施設改修事業	教育委員会教育総務課	評価責任者・連絡先 課長 東 浩一 0595-22-9644

事務事業の概要	対象	市内中学校		
	目的	学校における新型コロナウイルスの感染及びその拡大リスクを軽減する		
	内容	中学校9校について水道の取っ手をレバーハンドルに交換しました。また、崇広中学校の職員室の空調機を修繕しました。		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	工事請負費	2,222,000円	崇広中学校 職員室空調設備修繕工事 レバーハンドル交換工事	1,232,000円 990,000円
	計	2,222,000円		

		項目	R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金			2,222		学校保健特別対策事業費補助金495,000円、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金1,727,000円	
		地方債			0			
		その他			0			
		一般財源			0			
		合計(A)	0	0	2,222	0		
	事業費	正規職員	業務量	人	人	0.05		人
			人件費	0	0	391		0
		再任用職員	業務量	人	人	人		人
			人件費	0	0	0		0
		会計年度任用職員	業務量	人	人	人		人
人件費				0	0	0		
小計(B)	0	0	391	0				
合計(A+B)	0	0	2,613	0				
市民1人当たりのコスト(円)		0	0	29	0			

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	感染症対策実施校	感染症対策を設備面で実施している学校		目標				10
				実績				10
指標化できない成果			達成				100.0%	

方向	完了	課題及び改善案	新型コロナウイルスにより学校の授業の行い方に変化が生じており、それに対応できる設備を整備していく必要がある。

整理番号 446 -	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)03中学校費(目)03新型コロナウイルス対策費(大事業)01新型コロナウイルス対策事業	決算書頁 325
---------------	--	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	531 子どもたちが、未来に夢や希望を持てる	R2 年度～ R2 年度	01-10-03-03-01-02
	基本事業	⑤ 児童生徒支援事業	担当部署	部・課名等 評価責任者・連絡先
事務事業名	一般管理運営経費	担当部署	教育委員会教育総務課	課長 東 浩一 0595-22-9644

事務事業の概要	対象	市内中学校		
	目的	新型コロナウイルス対策等を徹底し、生徒の学習保障をする		
	内容	学校再開に伴う感染症対策及び学習保障を実施するため、消耗品(石鹸、レバーハンドル、コピー用紙、トナー等)、管理用備品購入費(パーテーション等)、手数料(水回り・トイレ清掃・除菌)、修繕料(網戸設置等)を各校の実情に合わせて支出しました。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	消耗品	3,474,526円	学校配当	
	管理用備品購入費	4,664,330円	学校配当	
	手数料	119,900円	学校配当	
	修繕費	1,111,000円	学校配当	
	計	9,369,756円		

		項目	R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金			9,370		学校保健特別対策事業費補助金4,685,000円、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金4,684,756円	
		地方債			0			
		その他			0			
		一般財源			0			
		合計(A)	0	0	9,370	0		
	事業費	正規職員	業務量	人	人	0.05		人
			人件費	0	0	391		0
		再任用職員	業務量	人	人	人		人
			人件費	0	0	0		0
		会計年度任用職員	業務量	人	人	人		人
人件費		0	0	0	0			
	小計(B)	0	0	391	0			
	合計(A+B)	0	0	9,761	0			
	市民1人当たりのコスト(円)	0	0	108	0			

指標名	指標の説明	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標	感染症対策率	%	目標				100
			実績				100
指標化できない成果			達成				100.0%

方向	完了	課題及び改善案
----	----	---------

整理番号 447 -	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)03中学校費(目)03新型コロナウイルス対策費(大事業)01新型コロナウイルス対策事業	決算書頁 325
---------------	--	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	531 子どもたちが、未来に夢や希望を持てる	R2 年度～ R2 年度	01-10-03-03-01-03
	基本事業	⑤ 児童生徒支援事業	担当部署	部・課名等
	事務事業名	健康管理経費	教育委員会教育総務課	評価責任者・連絡先 課長 東 浩一 0595-22-9644

事務事業の概要	対象	市内中学校生徒								
	目的	新型コロナウイルス感染症について集団感染のリスクを避けるため、保健衛生用品等を整備する								
	内容	新型コロナウイルス感染症にかかる休校後の学校再開及び学校運営にかかり、消毒液、非接触体温計等の保健衛生用品等を配備することで、集団感染のリスクを避け、生徒が安心して学ぶことが出来る体制づくりに努めました。								
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消耗品</td> <td>302,500円 2,517,214円</td> <td>フェイスシールド、非接触体温計、消毒液等 学校配当</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,819,714円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	消耗品	302,500円 2,517,214円	フェイスシールド、非接触体温計、消毒液等 学校配当	計	2,819,714円
経費	金額	摘要								
消耗品	302,500円 2,517,214円	フェイスシールド、非接触体温計、消毒液等 学校配当								
計	2,819,714円									

		項目	R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国庫支出金			2,820		国庫支出金:新型コロナウイルス感染症対応 地方創生臨時交付金2,820,000円	
		地方債			0			
		その他			0			
		一般財源			0			
		合計(A)	0	0	2,820	0		
	事業費	正規職員	業務量	人	人	0.01		人
			人件費	0	0	79		0
		再任用職員	業務量	人	人	人		人
			人件費	0	0	0		0
		会計年度任用職員	業務量	人	人	人		人
人件費			0	0	0			
	小計(B)	0	0	79	0			
	合計(A+B)	0	0	2,899	0			
	市民1人当たりのコスト(円)	0	0	33	0			

指標名	指標の説明	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標	感染症対策率	%	目標				100
			実績				100
指標化できない成果			達成				100.0%

方向	完了	課題及び改善案

整理番号 448 -	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)03中学校費(目)03新型コロナウイルス対策費(大事業)01新型コロナウイルス対策事業	決算書頁 325
---------------	--	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	531 子どもたちが、未来に夢や希望を持てる	R2 年度～ R2 年度	01-10-03-03-01-04
	基本事業	⑤ 児童生徒支援事業	担当部署	部・課名等
	事務事業名	学校管理用備品整備事業	教育委員会教育総務課	評価責任者・連絡先 課長 東 浩一 0595-22-9644

事務事業の概要	対象	市内中学校								
	目的	学校における新型コロナウイルスの感染及びその拡大リスクを軽減する								
	内容	学校再開に伴う感染症対策及び学習保障を実施するため、全学校に全自動製氷機を購入しました。								
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>備品購入費</td> <td>1,532,300円</td> <td>管理用備品購入費</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,532,300円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	備品購入費	1,532,300円	管理用備品購入費	計	1,532,300円
経費	金額	摘要								
備品購入費	1,532,300円	管理用備品購入費								
計	1,532,300円									

全体コスト(千円)	項目	R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		直接事業費	国庫支出金	0	0		1,532
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	0	0	0	0		
	合計(A)	0	0	1,532	0		
事業費	正規職員	業務量	人	人	0.03	人	
		人件費	0	0	235	0	
	再任用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費	0	0	0	0	
	会計年度任用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費		0	0	0	
	小計(B)	0	0	235	0		
	合計(A+B)	0	0	1,767	0		
	市民1人当たりのコスト(円)	0	0	20	0		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	感染症対策実施校	感染症対策に必要な備品整備学校数	校	目標				10
				実績				10
指標化できない成果			達成				100.0%	

方向	完了	課題及び改善案 新型コロナウイルス感染症により学校の授業の行い方に変化が生じており、それに伴い必要な備品の整備を行う必要がある。

整理番号	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)04幼稚園費(目)01幼稚園費(大事業)02園管理経費	決算書頁
449 -		325

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	131	子どもを安心して産み、育てることができる	H16 年度～ R2 年度	01-10-04-01-02-01
	基本事業 ②	子育て支援対策事業	担当部署	部・課名等
事務事業名	園管理経費		健康福祉部保育幼稚園課	評価責任者・連絡先
				課長 谷口 順一 0595-22-9658

事務事業の概要	対象	公立幼稚園		
	目的	幼児教育振興のため園の適切な管理運営を行う		
	内容	公立幼稚園の管理運営のため、会計年度任用職員の任用をはじめ、施設の保守業務として、浄化槽、消防設備、遊具や受電設備の点検、警備業務や受水槽・高架水槽の清掃等を行いました。 また、園の運営に必要な需用費、役員費、旅費等を執行しました。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	報酬	682,270円	園医報酬等	
	需用費	3,519,182円	消耗品費、光熱水費、賄材料費307,250円、修繕料等	
	備品購入費	1,074,070円	管理用備品、図書購入費	
	役員費	191,572円	通信運搬費、手数料等	
	委託料	1,479,836円	施設維持管理、設備保守点検等	
	その他経費	354,751円	報償費、使用料及び賃借料、旅費、負担金、補助及び交付金	
	計	7,301,681円		

		項目	R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金					日本スポーツ振興センター保護者負担金 22,600円 認定こども園等緊急環境整備事業費補助金 (新型コロナウイルス感染症対策) 998,000円 日本スポーツ振興センター災害共済給付金 16,380円
		地方債					
		その他	3,434	110	1,037	89	
		一般財源	16,056	8,194	6,265	7,247	
		合計(A)	19,490	8,304	7,302	7,336	
	事業費	正規職員	業務量	0.58 人	0.58 人	0.95 人	0.95 人
			人件費	4,522	4,531	7,421	7,376
		再任用職員	業務量	人	人	人	人
			人件費	0	0	0	0
		会計年度任用職員	業務量	人	人	人	人
人件費	0		0	0	0		
	小計(B)	4,522	4,531	7,421	7,376		
	合計(A+B)	24,012	12,835	14,723	14,712		
	市民1人当たりのコスト(円)	262	142	163	165		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	入園児童数	公立幼稚園に入園した伊賀市の児童数(5月1日現在)	人	目標		220	220	220
				実績	145	139	132	111
指標化できない成果			達成		63.2%	60.0%	50.5%	

方向	継続	課題及び改善案	園児の安全を確保し、良好な教育環境を保持するために施設の管理、補修等を実施しており、継続して適正な管理をしていく必要があります。緊急的な危険箇所への対応と共に計画的・効果的に整備します。

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	531	子どもたちが、未来に夢や希望を持てる	H27年度～ R2年度	01-10-04-01-02-03
	基本事業 ①	地域とともに学校マニフェスト推進事業(学校経営品質向上事業)		
事務事業名	学校(園)マニフェスト推進事業	担当部署	健康福祉部保育幼稚園課	評価責任者・連絡先 課長 谷口 順一 0595-22-9658

事務事業の概要	対象	桃青の丘幼稚園児		
	目的	自尊感情を育み、生きた体験を通して、心豊かに感じる子どもを育てる		
	内容	1. 自分やまわりの子のことが好き、大事だと思われる子を育てる。 2. 生きた体験(直接体験)を通して、心豊かに感じる子を育てる。 3. 人とかかわる力(コミュニケーション力)を育てる。 4. 基本的な生活習慣の確立や幼児の体づくりに取り組む。 5. 保護者にとっても楽しく充実した幼稚園になるように努めることを柱として、幼稚園長が定める幼稚園マニフェストの実現を図りました。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	報償費	25,000円	事業推進報償費	
	需用費	37,139円	消耗品費	
	計	62,139円		

		項目	R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0		
		地方債	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0		
		一般財源	90	94	63	0		
		合計(A)	90	94	63	0		
	事業費	正規職員	業務量	0.10 人	0.10 人	0.05 人		人
			人件費	780	782	391		0
		再任用職員	業務量	人	人	人		人
			人件費	0	0	0		0
		会計年度任用職員	業務量	人	人	人		人
	人件費	0	0	0	0			
	小計(B)	780	782	391	0			
	合計(A+B)	870	876	454	0			
	市民1人当たりのコスト(円)	10	10	6	0			

指標名		指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標	「お家の人はあなたを好きと思っている」5歳児	保護者と連携し、自分に自信が持てる園児の育成に取り組む。	%	目標	95	96	96
				実績	94.2	96	99
	指標化できない成果		達成	101.1%	103.1%	103.1%	

方向	廃止	課題及び改善案 豊かな心と健やかな体を育みいきいきと活動する子供を育成するには、保護者や地域の協力、専門家との連携の中で、特色ある教育を実施することが必要です。毎年、学力・人権・キャリアを3本柱に数値目標を立て、保護者の評価を次の教育につなげます。一般幼児教育を実践する中で、学校(園)マニフェストを推進するため、事務事業を廃止し、園管理経費の事務事業に含めて評価します。
-----------	-----------	---

整理番号	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)04幼稚園費(目)02新型コロナウイルス対策費(大事業)01新型コロナウイルス対策事業	決算書頁
451 -		327

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	131 子どもを安心して産み、育てることができる	R2 年度～ R2 年度	01-10-04-02-01-02
	基本事業	② 子育て支援対策事業	担当部署	部・課名等
	事務事業名	園管理経費	健康福祉部保育幼稚園課	評価責任者・連絡先
				課長 谷口 順一 0595-22-9658

事務事業の概要	対象	公立幼稚園								
	目的	新型コロナウイルス感染拡大防止を図る								
	内容	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、換気を図り3つの密を避けるための改修工事を実施しました。</p> <p>公立幼稚園 1園 定員 :220人</p> <p>感染症の影響による各家庭の経済的な影響を支援するため、(6月から12月)給食費を無償としました。 6月分104,250円 7月分125,750円 8月分41,500円 9月分124,000円 10月分103,750円 11月分105,000円 12月分84,000円</p>								
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>需用費</td> <td>1,898,250円</td> <td>修繕料 1,210,000円 賄材料費 688,250円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,898,250円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	需用費	1,898,250円	修繕料 1,210,000円 賄材料費 688,250円	計	1,898,250円
経費	金額	摘要								
需用費	1,898,250円	修繕料 1,210,000円 賄材料費 688,250円								
計	1,898,250円									

		項目	R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金			1,899	181	地方創生臨時交付金 1,899千円	
		地方債						
		その他						
		一般財源						
		合計(A)	0	0	1,899	181		
	事業費	正規職員	業務量	人	人	0.26		0.26
			人件費	0	0	2,031		2,019
		再任用職員	業務量	人	人	人		人
			人件費	0	0	0		0
		会計年度任用職員	業務量	人	人	人		人
	人件費		0	0	0			
	小計(B)	0	0	2,031	2,019			
	合計(A+B)	0	0	3,930	2,200			
	市民1人当たりのコスト(円)	0	0	44	25			

指標名	指標の説明	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標	入園児童数	公立幼稚園に入園した伊賀市の児童数(5月1日現在)	人	目標			111
				実績			111
	指標化できない成果		達成				100.0%

方向	完了	課題及び改善案

整理番号	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)05社会教育費(目)01社会教育総務費(大事業)02社会教育推進経費	決算書頁
452 -		329

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	541 生涯を通じ、生きがいをもち活躍できる	H16 年度～ R2 年度	01-10-05-01-02-01
	基本事業	① 生涯学習推進事業	担当部署	部・課名等
	事務事業名	成人式開催経費	教育委員会生涯学習課	評価責任者・連絡先
				課長 中井 芳子 0595-22-9679

事務事業の概要	対象	新成人となった市民		
	目的	成人を祝うことで、新成人としての自覚を促し、社会の構成員として活動していくよう啓発する		
	内容	<p>成人式式典 令和3年1月10日(日) 午後1時から40分程度</p> <p>中学校区別(9ヶ所)で開催 崇広中学校区(崇広中学校体育館)、城東中学校区(城東中学校体育館)、緑ヶ丘中学校区(緑ヶ丘中学校体育館)、上野南中学校区(上野南中学校体育館)、柘植・霊峰中学校区(いがまち公民館ホール)、阿山中学校区(あやま文化センター)、島ヶ原中学校区(島ヶ原温泉多目的ホール)、大山田中学校区(どんぶりホール)、青山中学校区(青山ホール) 対象者895名 参加者643名 参加率71.8%</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	報償費	10,000円	司会者謝礼 支払先: 昨年の成人式実行委員	
	需用費	682,324円	事務用品、葉書印刷、会場生花、体育館用灯油、体育館出席者用使い捨てカイロ、ウイルス感染対策用品等	
	役務費	141,546円	郵送代	
	委託料	144,200円	CD作成 委託先: 白百合写真館 32,000円	
			風船装飾 委託先: ハッピーシュガー 55,000円	
			風船飛ばし 委託先: 中部アド(株) 24,200円	
			会場内撮影(静止画・動画) 委託先: (有)フェアリー 33,000円	
	使用料及び賃借料	103,970円	会場使用料	
	計	1,082,040円		

		項目	R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0	ふるさと応援基金	
		地方債	0	0	0	0		
		その他	1,508	1,646	1,083	1,481		
		一般財源	0	0	0	0		
		合計(A)	1,508	1,646	1,083	1,481		
	事業費	正規職員	業務量	0.35 人	0.90 人	0.90 人		0.90 人
			人件費	2,729	7,030	7,030		6,988
		再任用職員	業務量	人	0.10 人	0.10 人		0.10 人
			人件費	0	385	385		354
		会計年度任用職員	業務量	人	0.01 人	0.01 人		0.01 人
	人件費		20	20	16			
	小計(B)	2,729	7,435	7,435	7,358			
	合計(A+B)	4,237	9,081	8,518	8,839			
	市民1人当たりのコスト(円)	47	101	95	100			

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	新成人の参加率	対象者のうち式典に参加した新成人の率	%	目標		80.0	80.0	80
				実績	72.5	75.6	76.3	71.8
指標化できない成果			達成		94.5%	95.3%	89.7%	

方向	継続	課題及び改善案	それぞれの中学校区で実行委員の応募が少なく例年苦慮しているが、引き続き対象者へ個別にハガキを郵送するほか、経験者の喜びの感想等をハガキに掲載することで、新成人が参加しやすく主体的に運営できるよう準備します。令和4年度は民法改正により18歳対象の成人式とすることから、令和5年1月に20歳、3月に19歳対象の人の成人式を行うこととし、対象者に周知します。また、令和5年度成人式からは1会場にて開催することとします。

整理番号 453 -	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)05社会教育費(目)01社会教育総務費(大事業)02社会教育推進経費	決算書頁 329
---------------	---	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	541 生涯を通じ、生きがいをもち活躍できる	H16 年度～ R2 年度	01-10-05-01-02-02
	基本事業	① 生涯学習推進事業	担当部署	部・課名等 教育委員会生涯学習課
事務事業名	社会教育推進経費		評価責任者・連絡先 課長 中井 芳子 0595-22-9679	

事務事業の概要	対象	社会教育委員		
	目的	社会教育の振興を図るため、社会教育に関する問題や課題を調査し解決策を検討する		
	内容	<p>社会教育委員:12名 成人式実行委員応募への声掛けや実行委員会への参加をして頂きました。 また、新しく改訂予定の「伊賀市生涯学習指針」策定にあたり指導や助言を頂いた。</p> <p>定例会:2回(内1回は書面決議による) 三重県社会教育委員連絡協議会総会及び全体研修会への出席(書面決議による)</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	報酬	54,000円	社会教育委員	
	旅費	12,765円	社会教育委員定例会出席交通費	
	需用費	78,364円	事務用品、自動車燃料、公用車車検整備等	
	役務費	55,786円	郵送料、公用車車検に係る手数料・損害保険料	
	負担金補助及び交付金	45,000円	三重県社会教育委員連絡協議会会費	
	公課費	5,000円	公用車車検に係る自動車重量税	
	計	250,915円		

		項目	R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0		
		地方債	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0		
		一般財源	7,937	551	251	413		
		合計(A)	7,937	551	251	413		
	事業費	正規職員	業務量	0.20 人	0.50 人	0.50 人		0.50 人
			人件費	1,560	3,906	3,906		3,882
		再任用職員	業務量	人	0.05 人	0.05 人		0.05 人
			人件費	0	193	193		177
		会計年度任用職員	業務量	人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
	人件費		0	0	0			
	小計(B)	1,560	4,099	4,099	4,059			
	合計(A+B)	9,497	4,650	4,350	4,472			
	市民1人当たりのコスト(円)	104	52	49	51			

指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標	社会教育委員会での協議案件数	件	目標	3	3	3
			実績	6	4	3
指標化できない成果		達成		133.3%	100.0%	133.3%

方向	継続	課題及び改善案
		<p>今年度は社会教育委員同士が連携・協力し、毎年開催して頂いてる家庭教育事業「いがファミリーフェスタ」は新型コロナウイルス感染症感染防止のため、中止となりました。更なる活動の推進に繋がることが期待される県の大会等も中止や書面決議での開催となりました。</p> <p>今後は社会教育法に謳われているように教育委員会の諮問に応じて意見を述べてもらえるよう、的確な時期を逃さないようにする必要があります。</p> <p>また、伊賀市生涯学習指針に基づき、生涯学習活動が活発に展開できるよう検討の場を設けます。</p>

整理番号	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)05社会教育費(目)01社会教育総務費(大事業)04生涯学習施設維持管理経費	決算書頁
454 -		329

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	622 歴史や文化遺産を守り、未来へと引き継ぐ	H16 年度～ R2 年度	01-10-05-01-04-02
	基本事業	① 文化財保護事業	担当部署	部・課名等
	事務事業名	たわらや維持管理経費	教育委員会青山公民館	評価責任者・連絡先
				館長 垣内 有美子 0595-52-1110

事務事業の概要	対象	来館者(観光客含む)		
	目的	来館者の増加、地域の歴史への造詣の深まり		
	内容	事業名	事業回数	使用時間総数
		貸室(公民館登録サークル等)	3回	7時間
		貸室(青小PTAラジオ体操)	5回	1時間
		貸室(阿保自治協)	6回	42時間
		来館者	—	—
		合計	14回	50時間
				416人
		※青山図書室(3/3～3/10)で「初瀬街道参宮講看板展」を開催。入場者数は157人。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	報償費	288,000円	事業推進報償費	
	需用費	442,612円	光熱水費、修繕料(浄化槽・トイレ小便秘器修繕)等	
	役務費	60,363円	通信運搬費、手数料	
	委託料	29,700円	浄化槽保守点検業務委託	
	計	820,675円		

	項目	R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	0	0	
	地方債	0	0	0		
	その他	1	1	1	1	
	一般財源	1,062	872	820	828	
	合計(A)	1,063	873	821	829	
事業費	正規職員	業務量	0.10 人	0.10 人	0.10 人	人
		人件費	780	782	782	0
	再任用職員	業務量	人	人	人	人
		人件費	0	0	0	0
	会計年度任用職員	業務量	0.20 人	0.10 人	0.10 人	人
		人件費		191	191	0
	小計(B)	780	973	973	0	
	合計(A+B)	1,843	1,846	1,794	829	
市民1人当たりのコスト(円)		21	21	20	10	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				目標		2,200	2,200
	来館者数	年間の施設への来館者数	人	実績 2,210	2,248	211	416
	指標化できない成果	来館者の地域の歴史への造詣の深まり	達成		102.2%	9.6%	18.9%

方向	縮小	課題及び改善案
		令和4年度開館予定の青山複合施設に本施設は含まれていない。補助金の適化法は2026(令和8)年までの期限であるが、令和3年度は庁内関係課や地域などと協議を行い、令和4年度以降の活用方法を検討する。施設の活用方法と並行して、県文化財指定を受けている「講看板」の管理方法も検討する。

整理番号	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)05社会教育費(目)02文化財保護費(大事業)01文化財保存経費	決算書頁
455 -		329

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	622 歴史や文化遺産を守り、未来へと引き継ぐ	H16 年度～ R2 年度	01-10-05-02-01-01
	基本事業	① 文化財保護事業	担当部署	部・課名等
	事務事業名	文化財保存経費	教育委員会文化財課	評価責任者・連絡先
				課長 笠井 賢治 0595-22-9678

事務事業の概要	対象	市内にある指定文化財又は指定文化財候補		
	目的	指定文化財の適切な保存管理を行い、次世代(未来)に引き継ぐ		
	内容	<p>伊賀市文化財保護審議会(2回)・伊賀市文化財保護指導委員会(1回)・市指定有形文化財旧上野市庁舎保存活用計画策定検討委員会(2回)を開催しました。 指定文化財などの調査・管理を行いました(64件)。 史跡の草刈など環境整備業務、樹木剪定伐採業務を実施しました。 【委託先】 史跡御墓山古墳草刈等業務委託:佐那具町自治会 史跡伊賀国分寺跡・史跡御墓山古墳環境整備事業業務委託:伊賀市シルバー人材センター 史跡上野城跡空堀除草業務委託:株式会社三進 国史跡上野城跡高石垣の定点観測測量業務及び基準点測量業務を実施しました。 ノハナショウブ群落管理業務を実施しました。 文化財年報を作成しました。(300冊) 文化財案内板「寺田の石造地藏菩薩坐像群」(3基)を設置しました。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	委託料	4,993,184円	環境整備業務(国分寺跡・御墓山古墳・国庁跡・上野城跡) 3,473,170円 樹木剪定伐採業務(国分寺跡・御墓山古墳・長楽山廃寺・崇広堂) 582,450円 ノハナショウブ群落管理業務 248,700円 国史跡上野城跡高石垣定点観測測量業務 250,800円 国史跡上野城跡高石垣基準点測量業務 192,500円 看板等作成及び設置業務 150,700円 オオサンショウウオ遺伝子解析 94,864円	
	報酬	204,000円	文化財保護審議会、文化財保護指導委員会、旧庁舎保存活用計画策定検討委員会	
	印刷製本費	154,666円	文化財年報印刷業務 ほか	
	その他	455,107円	旅費、消耗品費、通信運搬費 ほか	
	計	5,806,957円		

		項目	R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0				
		地方債	0	0				
		その他	0	0				
		一般財源	18,951	6,249	5,807	5,290		
		合計(A)	18,951	6,249	5,807	5,290		
	事業費	正規職員	業務量	2.63 人	1.10 人	1.10 人	1.25 人	
			人件費	20,504	8,593	8,593	9,705	
		再任用職員	業務量	人	人	人	人	
			人件費	0	0	0	0	
		会計年度任用職員	業務量	人	人	0.20 人	人	
	人件費		0	382	0			
	小計(B)	20,504	8,593	8,975	9,705			
	合計(A+B)	39,455	14,842	14,782	14,995			
	市民1人当たりのコスト(円)	431	164	164	168			

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	指定文化財の調査管理	指定文化財の調査、管理業務を行った件数	件	目標		65	65	65
				実績	65	62	62	64
指標化できない成果			達成		95.3%	95.3%	98.4%	

方向	継続	課題及び改善案 県内最多の指定文化財がある当市では未指定の文化財も多く、指定候補の文化財の調査や維持管理を必要とする指定文化財も多い。今後は地域やボランティアと協同して調査や維持管理の方法を検討する必要がある。

整理番号	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)05社会教育費(目)02文化財保護費(大事業)01文化財保存経費	決算書頁
456 -		329

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	622 歴史や文化遺産を守り、未来へと引き継ぐ	H16 年度～ R2 年度	01-10-05-02-01-04
	基本事業	① 文化財保護事業	担当部署	部・課名等 評価責任者・連絡先
	事務事業名	文化財保存事業	教育委員会文化財課	課長 笠井 賢治 0595-22-9678

事務事業の概要	対象	市内にある指定文化財		
	目的	指定文化財の適切な保存管理を行い、次世代(未来)に引き継ぐ		
	内容	所有者等が行う指定文化財の保存修理や防災施設等整備事業経費に対し、補助金を交付しました。(7件) 【補助事業名】 ・国重文 町井家住宅主屋・書院 防災設備保守点検事業 ・国重文 高倉神社本殿 防災・耐震対策重点強化(防災施設等)事業 ・国重文 猪田神社本殿 防災・耐震対策重点強化(防災施設等)事業 ・国重無民 上野天神祭のダンジリ行事 民俗文化財保存修理事業 ・国重無民 上野天神祭ダンジリ行事 保存管理事業 ・県指定有形 春日神社拝殿 保存修理事業 ・市指定有形 常福寺鳳凰彫刻 保存修理事業		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	負担金、補助及び交付金	14,148,000円	町井家住宅主屋・書院 防災設備保守点検事業 30,000円 高倉神社本殿 防災・耐震対策重点強化(防災施設等)事業 311,000円 猪田神社本殿 防災・耐震対策重点強化(防災施設等)事業 476,000円 上野天神祭のダンジリ行事 民俗文化財保存修理事業 1,134,000円 上野天神祭ダンジリ行事保存管理事業 2,500,000円 春日神社拝殿 保存修理事業 8,716,000円 常福寺鳳凰彫刻保存修理事業 981,000円	
	計	14,148,000円		

		項目	R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金					財源:文化振興基金繰入金	
		地方債						
		その他		14,330		13,583		
		一般財源			14,148			
		合計(A)	0	14,330	14,148	13,583		
	事業費	正規職員	業務量	人	1.71 人	1.71 人		1.55 人
			人件費	0	13,357	13,357		12,035
		再任用職員	業務量	人	人	人		人
			人件費	0	0	0		0
		会計年度任用職員	業務量	人	人	人		人
	人件費		0	0	0			
	小計(B)	0	13,357	13,357	12,035			
	合計(A+B)	0	27,687	27,505	25,618			
	市民1人当たりのコスト(円)	0	306	304	287			

指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指定文化財の保存修理等事業	保存修理等事業の進捗状況	%	目標			79
			実績			79
指標化できない成果		達成				100.0%

方向	継続	課題及び改善案	県内最多の指定文化財がある当市では、修理を必要とする文化財も多い。所有者及び国・県と協議・調整を行い、適切に保存修理事業を進める必要がある。また、修理費用については、民間助成金など公費以外の財源を獲得するよう努める必要がある。
----	----	---------	---

整理番号 457 -	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)05社会教育費(目)02文化財保護費(大事業)02文化施設維持管理 事業	決算書頁 331
---------------	--	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	622 歴史や文化遺産を守り、未来へと引き継ぐ	H16 年度～ R2 年度	01-10-05-02-02-01
	基本事業	① 文化財保護事業	担当 部署	部・課名等 評価責任者・連絡先
事務事業名	埋蔵文化財整理所等維持管理経費	教育委員会文化財課	課長 笠井 賢治 0595-22-9678	

事務事業の概要	対象	埋蔵文化財整理所		
	目的	施設の維持管理を行い、埋蔵文化財等を適切に保存・管理できる状態とする		
	内容	伊賀市内に所在する埋蔵文化財包蔵地について、開発事業に伴い立会・試掘等の調査を実施し、出土した遺物の整理を行うとともに、調査内容を伊賀市文化財年報に掲載しました。 また、これまでの発掘調査で出土した遺物等について、県内外の博物館等における展示や資料閲覧希望者に対し、資料の貸し出し・閲覧対応を行いました。 さらに、資料収蔵庫機能を担う「阿山ふるさと資料館保管庫」、「柘植資料保管庫」の管理を適切に行いました。		
事業に要した 主な経費 など	経費	金額	摘要	
	光熱水費	278,415円	緑ヶ丘整理所 電気代 146,592円 緑ヶ丘整理所 水道代 8,888円 阿山ふるさと資料館保管庫 電気代 3,372円 柘植資料保管庫 電気代 84,963円 柘植資料保管庫 水道代 8,008円 柘植資料保管庫 下水道代 26,592円	
	工事請負費	370,150円	柘植資料保管庫 電気減設工事 280,280円 柘植資料保管庫 外灯外部電源分節工事 89,870円	
	その他	471,149円	消耗品費、燃料費、修繕料、手数料、 消防設備等保守点検業務委託料、草刈業務委託料	
	計	1,119,714円		

全体コスト(千円)	項目	R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接 事業費	国県支出金	0	0	
	地方債	0	0			
	その他	0	0			
	一般財源	229	1,605	1,120	473	
	合計(A)	229	1,605	1,120	473	
事業費	正規職員	業務量	0.26 人	0.21 人	0.21 人	0.34 人
		人件費	2,027	1,641	1,641	2,640
	再任用職員	業務量	人	人	人	人
		人件費	0	0	0	0
	会計年度任用職員	業務量	人	人	0.30 人	人
		人件費		0	573	0
	小計(B)	2,027	1,641	2,214	2,640	
	合計(A+B)	2,256	3,246	3,334	3,113	
	市民1人当たりのコスト(円)	25	36	37	35	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	発掘調査成果の報告	発掘調査で作成した図面と出土遺物の整理による概報・報告数	件	目標		1	1	1
				実績	1	1	1	1
指標化できない成果			達成		100.0%	100.0%	100.0%	

方向	継続	課題及び改善案	埋蔵文化財整理所及び資料保管庫に収蔵する資料が増加し、収蔵量にゆとりがなくなっている。各所にある収蔵施設を集約して、適切に保存・管理する必要がある。 発掘調査による出土品の整理等については、民間業者の活用も検討する。

整理番号	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)05社会教育費(目)02文化財保護費(大事業)02文化施設維持管理事業	決算書頁
458 -		331

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	622	歴史や文化遺産を守り、未来へと引き継ぐ	H16年度～ R2年度	01-10-05-02-02-03
	基本事業 ①	文化財保護事業	担当部署	部・課名等
事務事業名	大山田郷土資料館維持管理経費		教育委員会文化財課	評価責任者・連絡先
				課長 笠井 賢治 0595-22-9678

事務事業の概要	対象	大山田郷土資料館		
	目的	社会教育の場として、文化財や民俗資料を適切に保存・管理し、広く観覧に供する		
	内容	収集された民俗資料や出土遺物を保管し、観覧が可能なように施設の維持管理を行いました。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	謝礼	43,200円	開閉管理ボランティア謝礼(大山田郷土の広場)	
	委託料	209,880円	消防設備等保守点検業務委託	148,500円
			汚水処理施設維持管理業務委託	61,380円
	修繕料	143,000円	便所換気扇取替工事	
	消耗品費	1,122円		
	燃料費	5,345円	暖房用燃料 灯油代	
	光熱水費	402,983円	大山田資料館 電気代、水道代	
	通信運搬費	31,923円	大山田資料館 電話代	
	手数料	3,800円	浄化槽法定検査手数料	
	計	841,253円		

全体コスト(千円)	項目	R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	0	0	
	地方債	0	0			
	その他	0	0		446	
	一般財源	1,371	924	842	601	
	合計(A)	1,371	924	842	1,047	
事業費	正規職員	業務量	0.22 人	0.21 人	0.21 人	0.25 人
		人件費	1,716	1,641	1,641	1,941
	再任用職員	業務量	人	人	人	人
		人件費	0	0	0	0
	会計年度任用職員	業務量	人	人	人	人
		人件費		0	0	0
	小計(B)	1,716	1,641	1,641	1,941	
	合計(A+B)	3,087	2,565	2,483	2,988	
	市民1人当たりのコスト(円)	34	29	28	34	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	資料館への入館者数	資料館への入館者数	人	目標		1,300	1,300	1,300
				実績	789	911	577	265
指標化できない成果			達成		70.1%	44.4%	20.4%	

方向	継続	課題及び改善案	公共施設最適化計画では、資料館等の施設は将来的に大山田郷土資料館に統合するとしているが、当該施設の収蔵庫の容量等の問題から、計画の見直しをする必要が出てきている。当館は、地元のボランティア団体である「大山田郷土の広場」の協力を得て、展示等を行い、地域の歴史・文化の啓発施設として運営を継続する。

整理番号 459 -	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)05社会教育費(目)02文化財保護費(大事業)02文化施設維持管理 事業	決算書頁 331
---------------	--	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	622 歴史や文化遺産を守り、未来へと引き継ぐ	H16 年度～ R2 年度	01-10-05-02-02-05
	基本事業	① 文化財保護事業	担当部署	部・課名等 評価責任者・連絡先
	事務事業名	文化財施設維持管理経費	教育委員会文化財課	課長 笠井 賢治 0595-22-9678

事務事業の概要	対象	旧崇広堂、旧小田小学校本館、入交家住宅、城之越遺跡		
	目的	維持管理を行い、適切に保存・管理し、社会教育の場として、貴重な文化財を広く観覧に供する		
	内容	旧崇広堂・旧小田小学校本館・入交家住宅・城之越遺跡の指定管理者を指定し、文化財施設として保存管理するとともに、指定管理者による「古代遺跡で！グラウンドゴルフ！」や「GLASS ART EXHIBITION IN IGA2020」、「硝子で愉しむ桃の節句」などのイベント・企画展等を開催し、文化財の活用を図りました。 指定管理者：(公財)伊賀市文化都市協会		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
		委託料	22,551,700円	施設維持管理委託料(指定管理料)
		修繕料	2,184,028円	入交家住宅主屋土塀等修理工事 275,000円 史跡旧崇広堂台所棟等引戸修繕 52,800円 史跡旧崇広堂台所棟等外壁塗装工事 261,228円 城之越遺跡浄化槽・膜処理槽 膜エレメント取替及び膜取付ユニット取替 1,595,000円
		使用料及び賃借料	211,200円	駐車場用地借上料(入交家住宅)
		計	24,946,928円	

		項目	R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0				
		地方債	0	0				
		その他	0	0				
		一般財源	23,600	23,454	24,947	23,568		
		合計(A)	23,600	23,454	24,947	23,568		
	事業費	正規職員	業務量	0.45 人	0.30 人	0.30 人		0.55 人
			人件費	3,509	2,344	2,344		4,271
		再任用職員	業務量	人	人	人		人
			人件費	0	0	0		0
		会計年度任用職員	業務量	人	人	人		人
	人件費		0	0	0			
	小計(B)	3,509	2,344	2,344	4,271			
	合計(A+B)	27,109	25,798	27,291	27,839			
	市民1人当たりのコスト(円)	296	285	302	312			

指標名	指標の説明	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標	来場者数合計	人	目標		20,000	22,800	22,800
			実績	19,469	16,641	17,108	10,086
	指標化できない成果		達成		83.2%	75.0%	44.2%

方向	継続	課題及び改善案	文化財施設は保存しつつ活用し、将来に受け継いでいく必要がある。指定管理者によるイベント等の開催で積極的な活用が図られているが、今年度はコロナの影響もあり、来場者数が減少している。城之越遺跡は開園より20年以上が経過し、大溝をはじめ経年劣化がみられるため、施設の抜本的な修繕を行う必要がある。

整理番号	460 -	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)05社会教育費(目)02文化財保護費(大事業)03文化財調査事業	決算書頁	—
------	-------	---	------	---

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	622 歴史や文化遺産を守り、未来へと引き継ぐ	H16 年度～ R2 年度	01-10-05-02-03-01
	基本事業	① 文化財保護事業	担当部署	部・課名等 評価責任者・連絡先
	事務事業名	民間等受託発掘調査経費	教育委員会文化財課	課長 笠井 賢治 0595-22-9678

事務事業の概要	対象	埋蔵文化財		
	目的	開発行為によって失われる埋蔵文化財を適切に調査・記録する		
	内容	令和2年度は、民間開発に伴う発掘調査実施の機会はなかったが、(仮)忍者体験施設整備事業に伴い、上野城跡の成瀬平馬家屋敷跡の発掘調査を民間業者を活用して実施しました。		
事業に要した主な経費など	経費		金額	摘要
	計		円	

		項目	R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0			財源:埋蔵文化財発掘調査負担金	
		地方債	0	0				
		その他	0	4,000	0	4,000		
		一般財源	0	0	0	0		
		合計(A)	0	4,000	0	4,000		
	事業費	正規職員	業務量	0.21 人	0.21 人	0.21 人		0.60 人
			人件費	1,638	1,641	1,641		4,659
		再任用職員	業務量	人	人	人		人
			人件費	0	0	0		0
		会計年度任用職員	業務量	人	人	人		人
	人件費		0	0	0			
	小計(B)	1,638	1,641	1,641	4,659			
	合計(A+B)	1,638	5,641	1,641	8,659			
	市民1人当たりのコスト(円)	18	63	19	98			

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	発掘調査進捗状況	発掘調査現場における調査の進捗状況	%	目標		—	100	100
				実績	100	—	100	100
指標化できない成果			達成		—	100.0%	100.0%	

方向	継続	課題及び改善案	今後も開発事業の状況に応じて発掘調査を行う民間業者の活用も検討する必要がある。

整理番号 461 -	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)05社会教育費(目)02文化財保護費(大事業)04文化財保存整備事業	決算書頁 331
---------------	---	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	622 歴史や文化遺産を守り、未来へと引き継ぐ	H28 年度～ R2 年度	01-10-05-02-04-02
	基本事業	① 文化財保護事業	担当部署	部・課名等 教育委員会文化財課
事務事業名	歴史的風致維持向上計画進捗管理事業			評価責任者・連絡先 課長 笠井 賢治 0595-22-9678

事務事業の概要	対象	上野城下町など歴史的風致の重点区域		
	目的	地域の歴史的な風情情緒を活かしたまちづくりを支援する		
	内容	平成28年5月19日に認定された「伊賀市歴史的風致維持向上計画」に基づき、歴史的風致の維持向上を図るため実施している3箇所の重点区域(上野城下町、初瀬街道阿保宿、大和街道島ヶ原宿)について、関係各課が実施する個別事業の進捗管理を行い、協議会を2回開催しました。また、令和2年度は認定を受けてから5年目となるため、当該計画の方針や波及効果、歴史的風致を評価するとともに、外部評価者から代表的な事業を選定・評価いただき、中間評価を実施しました。中部地方整備局管内の認定市町(15市町)と「連携事業検討会」(zoomによる)を通じて意見交換を行いました。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	報酬	84,000円	歴史的風致維持向上協議会委員、外部評価者報酬	
	旅費	15,960円	協議会委員、外部評価者旅費	
	消耗品費	9,000円		
	委託料	277,200円	歴史的建造物調査業務委託料	
	計	386,160円		

		項目	R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0				
		地方債	0	0				
		その他	0	0				
		一般財源	416	629	387	600		
		合計(A)	416	629	387	600		
	事業費	正規職員	業務量	0.53 人	0.43 人	0.43 人		0.43 人
			人件費	4,132	3,359	3,359		3,339
		再任用職員	業務量	人	人	人		人
			人件費	0	0	0		0
		会計年度任用職員	業務量	人	人	人		人
	人件費		0	0	0			
	小計(B)	4,132	3,359	3,359	3,339			
	合計(A+B)	4,548	3,988	3,746	3,939			
	市民1人当たりのコスト(円)	50	45	42	45			

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	進行中事業数	計画書掲載事業のうち、現在進行中の事業数	件	目標		10	10	11
				実績	12	13	10	11
指標化できない成果			達成		130.0%	100.0%	100.0%	

方向	継続	課題及び改善案	重点区域における個別事業は、地元と協議を行い事業化を図る。また、個別事業の進捗管理は、庁内関係各課と連携して実施する。

整理番号	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)05社会教育費(目)02文化財保護費(大事業)04文化財保存整備事業	決算書頁
462 -		331

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	622 歴史や文化遺産を守り、未来へと引き継ぐ	H30 年度～ R2 年度	01-10-05-02-04-03
	基本事業	① 文化財保護事業	担当部署	部・課名等
	事務事業名	国史跡伊賀国庁跡保存整備事業	教育委員会文化財課	評価責任者・連絡先
				課長 笠井 賢治 0595-22-9678

事務事業の概要	対象	国史跡伊賀国庁跡		
	目的	「史跡伊賀国庁跡保存整備活用基本計画」に基づき、国史跡伊賀国庁跡の史跡整備を行う		
	内容	平成26年度・27年度に策定した「史跡伊賀国庁跡保存整備活用基本計画」に基づき、平成30年度・令和元年度に史跡整備区域の基本設計及び実施設計を策定しました。令和2年度は、史跡伊賀国庁跡保存整備事業指導委員会(1回)を開催し、指導・助言を得ながら保存整備工事、用地取得を行いました。		
事業に要した主な経費など		経費	金額	摘要
		報酬	36,000円	史跡伊賀国庁跡保存整備事業指導委員報酬 1回分
		旅費	12,888円	史跡伊賀国庁跡保存整備事業指導委員旅費
		需用費	54,612円	消耗品費
		委託料	99,000円	土地鑑定業務委託料
		工事請負費	9,905,500円	伊賀国庁跡保存整備工事費
		公有財産購入費	6,312,000円	文化財保存整備事業用地取得費
	計	16,420,000円		

		項目	R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	3,382	11,285	11,285	5,769	財源:伊賀国庁跡保存整備事業補助金、社会教育債(文化財保存事業)	
		地方債	2,900	4,400	4,500	5,900		
		その他	0	0				
		一般財源	565	735	635	658		
		合計(A)	6,847	16,420	16,420	12,327		
	事業費	正規職員	業務量	0.70 人	0.73 人	0.73 人		0.93 人
			人件費	5,458	5,703	5,703		7,221
		再任用職員	業務量	人	人	人		人
			人件費	0	0	0		0
		会計年度任用職員	業務量	人	人	人		人
	人件費		0	0	0			
	小計(B)	5,458	5,703	5,703	7,221			
	合計(A+B)	12,305	22,123	22,123	19,548			
	市民1人当たりのコスト(円)	135	245	245	219			

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	整備事業の推進	整備事業の進捗状況	%	目標		15	30	45
				実績		15	30	45
	指標化できない成果		達成		100.0%	100.0%	100.0%	

方向	継続	課題及び改善案	「史跡伊賀国庁跡保存整備活用基本計画」で策定した範囲のうち、主要部分を史跡公園として整備する「実施設計」を策定し、現地での整備工事に着手している。史跡の活用や維持管理は、できるだけ経費がかからないよう工夫しながら、次期整備においても検討していく必要がある。

整理番号	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)05社会教育費(目)02文化財保護費(大事業)05歴史資料保存管理経費	決算書頁
463 -		333

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	622 歴史や文化遺産を守り、未来へと引き継ぐ	H30 年度～ R2 年度	01-10-05-02-05-01
	基本事業	④ 歴史資料の整理・保存・管理事業	担当部署	部・課名等 評価責任者・連絡先
	事務事業名	歴史資料保存管理経費	教育委員会文化財課	課長 笠井 賢治 0595-22-9678

事務事業の概要	対象	歴史・文化に興味・関心をもち、郷土の学習や地域史研究等に取り組む市内外の住民や研究機関等		
	目的	歴史資料の収集・整理を行い、将来にわたって活用できるよう適切に保存・管理するとともに、展示や講座を通じて地域の歴史的な魅力を発信する		
	内容	市内の所蔵者より申し出を受けて歴史資料を5件調査、収集し、目録を10件作成しました。事業の普及・啓発活動として、『広報いが市』に「伊賀の歴史余話」(6回)を掲載しました。また、上野図書館・文化交流課とともにデジタルミュージアム「秘蔵の国 伊賀」を制作し、公開記念講演会(1回)を開催しました。中心市街地推進課が実施した『成瀬平馬家長屋門保存整備工事報告書』の作成にかかり、第1章「建物の概況」について原稿を作成し、資料翻刻7点を掲載し、文化財や資料を継承するよう努めました。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	需用費	480,016円	消耗品費 402,426円 燃料費 30,424円 光熱水費 小田書庫電気代 19,116円 修繕料 小田書庫鍵修理代、公用車バッテリー取替 28,050円	
	役務費	6,931円	通信運搬費	
	委託料	55,800円	書籍販売業務委託料 600円/冊 * 63冊 400円/冊 * 45冊	
	計	542,747円		

		項目	R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金					特定財源は、諸収入・雑入でこれまで刊行した市史(旧市町村分を含む)の書籍等売払代金を充当することとしています。	
		地方債						
		その他	427	450	439	359		
		一般財源	3,895	176	104	172		
		合計(A)	4,322	626	543	531		
	事業費	正規職員	業務量	1.00 人	1.10 人	1.10 人		1.10 人
			人件費	7,796	8,593	8,593		8,541
		再任用職員	業務量	人	人	人		人
			人件費	0	0	0		0
		会計年度任用職員	業務量	2.20 人	2.30 人	2.30 人		人
	人件費	4,196	4,387	4,387	0			
	小計(B)	11,992	12,980	12,980	8,541			
	合計(A+B)	16,314	13,606	13,523	9,072			
	市民1人当たりのコスト(円)	178	151	150	102			

指標名	指標の説明	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
『伊賀市史』各編などの有償・無償配布数	伊賀の歴史的魅力をどの程度発信できたかを『伊賀市史』などの頒布数で数値化しました。	冊	目標		100	100	100
			実績	343	88	83	88
指標化できない成果			達成		88.0%	83.0%	88.0%

方向	継続	課題及び改善案	市史編さん事業の成果や地域の歴史を広く市内外にPRするため、資料の展示や講演会等の開催を継続的に行うことが必要である。収集資料の収蔵スペースはほぼ限界に達しているため、収蔵施設について早急に検討する必要がある。

整理番号	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)05社会教育費(目)03同和教育費(大事業)01指導者育成経費	決算書頁
464 -		—

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	512 部落差別をなくす	H16 年度～ R2 年度	01-10-05-03-01-01
	基本事業	② 隣保館・児童館・教育集会所事業	担当	部・課名等
	事務事業名	指導者育成経費	部署	評価責任者・連絡先
			教育委員会生涯学習課	課長 中井 芳子 0595-22-9679

事務事業の概要	対象	同和地区内及び近隣地区の園児・児童生徒、保護者・地域住民		
	目的	各教育集会所に社会同和教育指導員を配置し、人権同和教育の推進を行う		
	内容	教育相談(教育に関連する子育て、生活、介護福祉、進路、就労なども含む)や部落問題をはじめ個別の人権課題に関する相談事業を実施しました。		
事業に要した主な経費など	経費		金額	摘要
	報償費		円	事業推進報償費
	計		円	

		項目	R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0				
		地方債	0	0				
		その他	0	0				
		一般財源	14,915	15,453	0			
		合計(A)	14,915	15,453	0	0		
	人件費	正規職員	業務量	0.00 人	0.00 人			
			人件費	0	0	0		0
		再任用職員	業務量					
			人件費	0	0	0		0
		会計年度任用職員	業務量			5.60 人		
	人件費		0	10,680	0			
	小計(B)	0	0	10,680	0			
	合計(A+B)	14,915	15,453	10,680	0			
	市民1人当たりのコスト(円)	163	171	118	0			

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	指導員の活動回数		社会同和教育における、あらゆる活動の回数(相談・助言・支援等の回数)	回	目標		400	600
					実績	654	733	811
指標化できない成果			達成		183.3%	135.2%	97.6%	

方向	統合	課題及び改善案 部落差別が今だ存在するという大きな課題の中で、社会同和教育指導員は、あらゆる差別の撤廃に向け、部落差別解消推進法に基づき、啓発や教育の推進及び相談体制の充実をめざして、学校・地域のニーズに対応した支援・指導していきます。また、次世代の人権啓発リーダーの育成も視野に入れ事業を展開すると共に、あらゆる人権侵害の解決をめざし、社会同和教育指導員のさらなる資質向上にむけた研修会等に積極的に参加するよう努めます。次年度からは、教育集会所管理経費へ統合されます。

整理番号 465 -	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)05社会教育費(目)03同和教育費(大事業)02同和教育研究推進事業	決算書頁 333
---------------	---	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	512 部落差別をなくす	H16 年度～ R2 年度	01-10-05-03-02-01
	基本事業	① 同和施策推進計画の推進	担当部署	部・課名等 教育委員会生涯学習課
事務事業名	同和教育研究推進事業		評価責任者・連絡先 課長 中井 芳子 0595-22-9679	

事務事業の概要	対象	伊賀市市民全員及び伊賀市内人権教育団体		
	目的	人権を尊重し、あらゆる差別のない明るい地域社会を実現する		
	内容	<p>①伊賀市内の人権同和教育の充実と発展に資する目的で、伊賀市人権同和教育研究協議会と上野社会同和教育研究会へ、人権同和教育研究活動事業を委託しました。</p> <p>②伊賀市・伊賀市教育委員会が主催・共催・後援する、同和問題をはじめ、人権尊重と啓発の研修・講演・学習会など、あらゆる機会をとらえて、人権同和教育の研究推進・人権啓発を行いました。</p> <p>③いがまち公民館の同和教育研究事業を行いました。</p> <p>新型コロナウイルス感染防止のため事業や研修会を中止し、委託金の一部を返還しました。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	委託料	3,936,733円	人権同和教育研究活動事業委託契約先 伊賀市人権同和教育研究協議会(伊賀市同研)	
	使用料及び賃借料	564,170円	社会同和教育研究活動事業委託料	
	負担金、補助金及び交付金	34,045円	小学校交流事業自動車借上料	
		79,000円	いがまち学校人権・同和教育研究会事業	
	計	4,613,948円		

		項目	R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0				
		地方債	0	0				
		その他	0	0				
		一般財源	12,317	12,782	4,614	8,181		
		合計(A)	12,317	12,782	4,614	8,181		
	事業費	正規職員	業務量	0.80 人	0.40 人	0.60 人		1.60 人
			人件費	6,237	3,125	4,687		12,423
		再任用職員	業務量	人	人	0.05 人		人
			人件費	0	0	193		0
		会計年度任用職員	業務量	人	人	1.30 人		1.30 人
	人件費		0	2,480	2,075			
	小計(B)	6,237	3,125	7,360	14,498			
	合計(A+B)	18,554	15,907	11,974	22,679			
	市民1人当たりのコスト(円)	203	176	133	255			

指標名	指標の説明	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
加入数	伊賀市人権同和教育研究協議会の活動趣旨を理解して会員となった加入数	%	目標		1,750	1,850	1,900
			実績	1,729	1,800	1,865	1,811
指標化できない成果			達成		102.9%	100.8%	95.3%

方向	継続	課題及び改善案	<p>今だ存在する部落差別をはじめあらゆる差別を撤廃するために、事業委託先である伊賀市人権同和教育研究協議会においては、あらゆる差別の撤廃条例や部落差別解消推進法に基づき、啓発や教育を社会教育分野で推進し、地域の現状に応じた各支部同研の活動を尊重しつつ、委託料の効果的な活用をめざします。主体的に差別をなくす市民がさらに広がること、財源確保の観点から、個人や団体会員のさらなる拡大を推進します。</p>
----	----	---------	---

整理番号	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)05社会教育費(目)03同和教育費(大事業)03同和问题啓発事業	決算書頁
466 -		333

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	512 部落差別をなくす	H16 年度～ R2 年度	01-10-05-03-03-01
	基本事業	② 隣保館・児童館・教育集会所事業	担当部署	部・課名等
事務事業名	同和问题啓発事業		教育委員会阿山公民館	評価責任者・連絡先 館長 福谷 日出夫 0595-43-0154

事務事業の概要	対象	伊賀市民		
	目的	住民一人ひとりが同和问题意識を持ち、同和问题解決にむけての動きを創出し、住民と行政が協働して同和教育を推進する		
	内容	同和问题に対する正しい知識を身に付け、差別をなくしていく将来の担い手を育てるため、人権啓発図書を購入しました。 ○人権啓発図書の購入 「親子で話そう!性教育」他7冊		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	需用費	6,644円	啓発冊子(みちしるべ・であい)	
	通信運搬費	6,720円	切手	
	備品購入費	16,965円	人権啓発図書購入	
	計	30,329円		

		項目	R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0				
		地方債	0	0				
		その他	0	0				
		一般財源	96	142	31	151		
		合計(A)	96	142	31	151		
	事業費	正規職員	業務量	0.22 人	0.10 人	0.10 人		0.10 人
			人件費	1,716	782	782		777
		再任用職員	業務量	人	人	人		人
			人件費	0	0	0		0
		会計年度任用職員	業務量	0.20 人	人	人		人
	人件費		0	0	0			
	小計(B)	1,716	782	782	777			
	合計(A+B)	1,812	924	813	928			
	市民1人当たりのコスト(円)	20	11	9	11			

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	参加者		広く地域住民の人権・同和问题意識を高めるため、講演会研修会参加者を指標としました。	人	目標		600	600
					実績	527	409	359
	指標化できない成果		達成		68.2%	59.8%	0.0%	

方向	継続	課題及び改善案	コロナウイルス感染防止のため、研修会を実施できなかったが、DXを取り入れた別の方法での啓発も検討していきます。

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業		
	施策	542	子どもや若者が、健やかに成長する	H16 年度～ R2 年度	01-10-05-04-01-01	
	基本事業	①	青少年健全育成事業	担当部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	青少年健全育成事業		教育委員会生涯学習課	課長 中井 芳子 0595-22-9679	

事務事業の概要	対象	市内の児童生徒及び青少年の健全育成を願う市民		
	目的	心豊かで思いやりのある青少年の育成を推進する		
	内容	<p>(1)第13回「輝け！いがっ子フォトコンテスト」の実施により、輝け！いがっ子憲章を周知・啓発しました。</p> <p>(2)伊賀市生涯学習推進指針に基づき、子どもの読書活動を推進しました。</p> <p>(3)青少年健全育成推進大会として、大人を対象とした講演会と、子どもたちの豊かな感性を育み親子のふれあいの大切さについて考えてもらう機会とするために人形劇の開催を計画しました。</p> <p>(講演会:令和3年2月6日 人形劇:令和3年3月6日 ※共に、新型コロナウイルス感染拡大のため中止)</p> <p>(4)伊賀市青少年育成市民連絡会議に対して青少年育成活動事業の補助をし、その中で、伊賀市青少年健全育成地域活動支援事業を実施し、助成団体の特色を生かした事業(地域住民との交流・世代間交流・自然体験など)を支援することができました。</p> <p>(5)上野児童福祉会連合会に委託をし、青少年健全育成事業およびふるさと学習事業を実施しました。 (青少年健全育成事業:新型コロナウイルス感染防止のため中止 ふるさと学習事業:4回実施/参加者49人)</p> <p>(6)青少年非行被害防止の取組として、青少年健全育成市内一斉活動を実施しました。 * 青少年非行防止活動強化月間(7月) * 子ども・若者育成支援強調月間(11月)※広報にて周知/街頭啓発は中止</p> <p>(7)研修会の開催や参加により、青少年への関心や課題意識を共有し、青少年を取り巻く事例について研修するとともに、青少年の健全育成について市民への周知啓発に努めました。 * 伊賀市青少年ネットワークづくり研修会(8月※新型コロナウイルス感染拡大により中止) * 伊賀地区こどもわかもの育成支援のための地域研修会(令和2年11月14日)</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	報償費	12,000円	いがっ子フォトコンテスト副賞	
	青少年育成活動事業補助金	1,767,145円	伊賀市青少年育成市民連絡会議	
	委託料	532,442円	青少年健全育成事業(上野児童福祉会連合会)	432,442円
			ふるさと学習事業(上野児童福祉会連合会)	100,000円
	その他	34,817円	消耗品費	26,715円
			通信運搬費	8,102円
	計	2,346,404円		

全体コスト(千円)	直接事業費	項目	R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		国県支出金	0	0				
		地方債	0	0				
		その他	0	0				
		一般財源	2,587	3,938	2,347	3,908		
	合計(A)	2,587	3,938	2,347	3,908			
	事業費	正規職員	業務量	0.66 人	0.66 人	0.75 人		人
			人件費	5,146	5,156	5,859		0
		再任用職員	業務量	人	人	0.00 人		人
			人件費	0	0	0		0
		会計年度任用職員	業務量	人	人	0.00 人		人
			人件費	0	0	0		0
小計(B)	5,146	5,156	5,859	0				
合計(A+B)	7,733	9,094	8,206	3,908				
市民1人当たりのコスト(円)		85	101	91	44			

指標	指標名	指標の説明	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	青少年健全育成推進大会参加者数	青少年健全育成推進大会参加者数	人	目標	/	200	200	200
				実績	198	250	349	0
指標化できない成果			達成	/	125.0%	174.5%	0.0%	

方向	改善	<p>課題及び改善案</p> <p>青少年健全育成に係る、指導者や団体の担い手不足のほか、各地域での取り組みが充実している反面、伊賀市全体としての取り組みが少ないことが課題となっています。</p> <p>市民に対して、青少年健全育成の活動や団体の周知・啓発に努め、指導者や担い手を確保するとともに、市内各地域で活動する青少年育成団体の活動を尊重しつつ、伊賀市全体としての取り組みを充実させていきます。また、さらなる青少年健全育成推進のため、参加者ニーズを把握し、参加者確保と事業効果増大につなげます。</p>
-----------	-----------	---

整理番号 468 -	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)05社会教育費(目)04青少年育成費(大)01青少年健全育成事業	決算書頁 333
---------------	---	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	542 子どもや若者が、健やかに成長する	H16 年度～ R2 年度	01-10-05-04-01-02
	基本事業	① 青少年健全育成事業	担当部署	部・課名等 評価責任者・連絡先
事務事業名	放課後子ども教室推進事業	教育委員会生涯学習課	課長 中井 芳子 0595-22-9679	

事務事業の概要	対象	小学校1～6年生までの希望する児童																			
	目的	放課後に学校の空き教室や集会所を利用して、子どもの居場所を提供する																			
	内容	<p>○放課後子ども教室 伊賀市内で3つの教室があります。 【柘植放課後子ども教室】 委託先:柘植放課後子ども教室運営委員会 活動場所:小林区ふれあいサロン 活動状況:毎週水曜日の放課後から午後6時まで。長期休業中は午前7時から午後6時まで。</p> <p>【古山放課後子ども教室】 委託先:古山放課後子ども教室運営委員会 活動場所:古山地区市民センター 活動状況:毎週水曜日の放課後から午後6時まで。長期休業中は午前8時30分から午後6時まで。 ※西柘植放課後子ども教室については、新型コロナウイルス感染症感染防止のため1年間活動を休止し、上記2教室は、一定期間活動を休止しました。</p> <p>○放課後子どもプラン施策検討委員会(書面決議にて) 日時:令和2年8月13日(木) 内容:放課後子ども教室の新設について</p>																			
事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報酬</td> <td>30,000円</td> <td>放課後子どもプラン施策検討委員会委員報酬(5名分)</td> </tr> <tr> <td>報償費</td> <td>306,450円</td> <td>放課後子ども教室コーディネーター謝礼(3教室×1名)</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>2,634円</td> <td>郵送代</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>898,825円</td> <td>放課後子ども教室委託料(3教室) 委託先:柘植放課後子ども教室運営委員会 313,226円 委託先:西柘植放課後子ども教室運営委員会 3,020円 委託先:古山放課後子ども教室運営委員会 582,579円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,237,909円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	報酬	30,000円	放課後子どもプラン施策検討委員会委員報酬(5名分)	報償費	306,450円	放課後子ども教室コーディネーター謝礼(3教室×1名)	役務費	2,634円	郵送代	委託料	898,825円	放課後子ども教室委託料(3教室) 委託先:柘植放課後子ども教室運営委員会 313,226円 委託先:西柘植放課後子ども教室運営委員会 3,020円 委託先:古山放課後子ども教室運営委員会 582,579円	計	1,237,909円			
経費	金額	摘要																			
報酬	30,000円	放課後子どもプラン施策検討委員会委員報酬(5名分)																			
報償費	306,450円	放課後子ども教室コーディネーター謝礼(3教室×1名)																			
役務費	2,634円	郵送代																			
委託料	898,825円	放課後子ども教室委託料(3教室) 委託先:柘植放課後子ども教室運営委員会 313,226円 委託先:西柘植放課後子ども教室運営委員会 3,020円 委託先:古山放課後子ども教室運営委員会 582,579円																			
計	1,237,909円																				

全体コスト(千円)	項目	R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	1,238	1,466	
	地方債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	一般財源	620	772	413	979	
	合計(A)	1,858	2,238	1,238	2,963	
事業費	正規職員	業務量	0.10 人	0.10 人	0.04 人	0.04 人
		人件費	780	782	313	311
	再任用職員	業務量	人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
		人件費	0	0	0	0
	会計年度任用職員	業務量	人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
人件費			0	0	0	
	小計(B)	780	782	313	311	
	合計(A+B)	2,638	3,020	1,551	3,274	
	市民1人当たりのコスト(円)	29	34	18	37	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				目標		80	80
	平均利用児童数	教室1回あたりの平均利用児童数(全教室計)	人	実績 40	32	24	12
	指標化できない成果		達成		40.0%	30.0%	15.0%

方向	継続	課題及び改善案 放課後の子どもたちを見守る地域事業であるため住民の協力が欠かせないが、ボランティアの人員不足や高齢化などによって事業継続が困難となっている地域があるため、ボランティアの確保・育成を支援し、安心安全な居場所づくりと地域づくりを支援する必要があります。 令和2年度中に地域から要望があり、令和3年度から玉滝放課後子ども教室が活動を開始します。 また、今後も国が進める「新・放課後子ども総合プラン」に基づき放課後児童クラブとの一体化を図るため、福祉部局との一層の連携を図ります。
----	----	---

整理番号 469 -	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)05社会教育費(目)04青少年育成費(大事業)01青少年健全育成事業	決算書頁 333
---------------	---	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	542 子どもや若者が、健やかに成長する	H29 年度～ R2 年度	01-10-05-04-01-03
	基本事業	① 青少年健全育成事業	担当部署	部・課名等
	事務事業名	学校支援地域本部推進事業	教育委員会生涯学習課	評価責任者・連絡先 課長 中井 芳子 0595-22-9679

事務事業の概要	対象	学校支援地域本部における学習支援を希望する小学生及び中学生										
	目的	学校支援地域本部を中心に地域学校協働活動の推進を図り、生活困窮世帯を含めた小中学生に対して、地域力を活用した学習支援を行う										
	内容	学習支援事業 柘植中学校区地域未来塾運営協議会による学習支援 小学生：毎週火・金曜日の午後4時～午後5時 中学生：毎週火曜日の午後7時30分～午後9時										
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託料</td> <td>725,000円</td> <td>地域未来塾運営管理委託料</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>725,000円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	委託料	725,000円	地域未来塾運営管理委託料	計	725,000円		
経費	金額	摘要										
委託料	725,000円	地域未来塾運営管理委託料										
計	725,000円											

	項目	R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		直接事業費	国県支出金	400	400		400
	地方債						
	その他						
	一般財源	325	325	325	325		
	合計(A)	725	725	725	725		
事業費	正規職員	業務量	0.10 人	0.10 人	0.10 人	0.20 人	
		人件費	780	782	782	1,553	
	再任用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費	0	0	0	0	
	会計年度任用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費		0	0	0	
	小計(B)	780	782	782	1,553		
	合計(A+B)	1,505	1,507	1,507	2,278		
市民1人当たりのコスト(円)		17	17	17	26		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	学習時間	年間学習時間	h	目標		75	75	80
				実績	77	75	84	80.6
指標化できない成果			達成		100.0%	112.0%	100.8%	

方向	継続	課題及び改善案 生活困窮世帯を含めた小・中学生の学習支援について、地域における元教員や青年層と協力して学習の場を確立するため、地域や小中学校との連携強化を図る必要があります。

整理番号 470 -	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)05社会教育費(目)04青少年育成費(大事業)02青少年センター運営経費	決算書頁 335
---------------	---	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	542 子どもや若者が、健やかに成長する	H16 年度～ R2 年度	01-10-05-04-02-01
	基本事業	① 青少年健全育成事業	担当部署	部・課名等 評価責任者・連絡先
事務事業名	青少年センター運営経費	教育委員会生涯学習課	課長 中井 芳子 0595-22-9679	

事務事業の概要	対象	市内の児童生徒や未成年者		
	目的	街頭補導や青少年相談、環境浄化活動を行なうことによって青少年の非行や犯罪を防止する		
	内容	<p>(1)街頭補導活動の実施 ①随時補導(231回)定時補導(40回)、警察少年指導委員特別街頭補導(9回)・少年警察協助力員補導(9回) ②学校や警察からの不審者・事件情報や各青少年市民会議等からの要請に応じ、児童下校時にパトロールを実施しました。不審者情報や保護者等からの要請に合わせた巡回により、児童の安全な下校をサポートしました。 ③学校の長期休業時には随時補導を計画的に実施しました。祭礼など市民的行事の際には特別補導を行い、問題行動や不良行為の未然防止と減少に努めました。</p> <p>(2)青少年相談活動の実施:市広報などを通して、電話や面談による青少年相談活動の周知に努めました。また、青少年が抱える悩みの解決のため、他のサポートセンターと連携し、より適切な指導・助言・支援に努めました。</p> <p>(3)環境浄化活動の実施:街頭補導にあわせて、青少年に有害な環境点検を行いました。書店や遊技場関係者に依頼し、有害図書・玩具など取り扱いについて協力を得ることができました。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	報酬	84,000円	委員報酬	
	報償費	106,200円	補導員報償費	
	旅費	9,953円	青少年センター運営委員会委員費用弁償	
	需用費	212,467円		
	役務費	248,506円		
	その他	8,800円	公課費(自動車重量税)	
	計	669,926円		

		項目	R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0				
		地方債	0	0				
		その他	0	0				
		一般財源	5,236	6,589	670	798		
		合計(A)	5,236	6,589	670	798		
	事業費	正規職員	業務量	0.40 人	0.40 人	0.47 人		人
			人件費	3,119	3,125	3,672		0
		再任用職員	業務量	人	人	0.00 人		人
			人件費	0	0	0		0
		会計年度任用職員	業務量	人	人	1.98 人		人
小計(B)	人件費		0	3,776	0			
合計(A+B)		3,119	3,125	7,448	0			
市民1人当たりのコスト(円)		8,355	9,714	8,118	798			
		92	108	90	9			

指標名	指標の説明	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
補導少年数	随時補導・定時補導・警察少年指導委員特別街頭補導・少年警察協助力員街頭補導での補導少年数	人	目標		10	10	10
			実績	8	25	7	8
指標化できない成果		達成		250.0%	70.0%	80.0%	

方向	改善	課題及び改善案	青少年相談の受付件数が少ないことが課題となっています。青少年やその家族等関係者に気軽に相談してもらえるように、青少年相談窓口があること、専門的な知識や経験を持っている主任補導員が相談員として従事していることを周知するための方法を検討し、実施していきます。さらに、青少年相談へのニーズを把握し、青少年相談受付件数の増加につなげていきます。

整理番号	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)05社会教育費(目)05公民館費(大事業)01公民館管理経費	決算書頁
471 -		335

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	541	生涯を通じ、生きがいをもち活躍できる	H16 年度～ R2 年度	01-10-05-05-01-01
	基本事業 ④	公民館活動事業	担当部署	部・課名等
事務事業名	公民館管理経費	教育委員会中央公民館	評価責任者・連絡先	館長 中井 芳子 0595-22-9637

事務事業の概要	対象	公民館を利用する市民、活動する団体		
	目的	公民館利用者のために、適正な施設維持管理を行うとともに、運営する職員の自己実現を図る		
	内容	伊賀市公民館運営審議会を開催しました。また、各地区公民館の維持管理及び施設の貸館を行いました。 ①伊賀市公民館運営審議会 3月24日に開催し、各地区公民館の実施状況や事業計画案、今後の公民館及び図書館(室)の再編体制について審議を行いました。 ②施設の貸館実績 生涯学習センター14,884人 いがまち公民館2,196人 島ヶ原公民館2,141人 阿山公民館3,670人 大山田公民館1,004人 青山公民館4,586人		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	報酬	42,000円	公民館運営審議会委員報酬(中央)	
	旅費	5,550円	公民館運営審議会委員費用弁償(中央)	
	需用費	7,725,134円	(中央、いがまち、阿山、大山田、青山)	
	役務費	796,265円	(中央、阿山、大山田、青山)	
	委託料	1,119,354円	(いがまち、阿山、大山田)	
	使用料及び賃借料	662,068円	(いがまち、阿山、大山田、青山)	
	工事請負費	413,600円	農業集落排水接続工事(大山田)	
	償還金、利子及び割引料	44,300円	(いがまち、大山田、青山)	
	公課費	84,400円	(中央、阿山、青山)	
	計	10,892,671円		

全体コスト(千円)	項目	R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	0	0	
	地方債	0	0	0	0	
	その他	849	1,278	684	846	
	一般財源	10,929	11,515	10,209	11,319	
	合計(A)	11,778	12,793	10,893	12,165	
事業費	正規職員	業務量	3.10 人	3.10 人	3.15 人	2.75 人
		人件費	24,168	24,215	24,605	21,351
	再任用職員	業務量	人	人	0.25 人	0.57 人
		人件費	0	0	963	2,013
	会計年度任用職員	業務量	1.23 人	人	0.60 人	0.60 人
人件費			0	1,145	958	
	小計(B)	24,168	24,215	26,713	24,322	
	合計(A+B)	35,946	37,008	37,606	36,487	
	市民1人当たりのコスト(円)	393	409	416	409	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	来館者数	各施設利用申込書等からの引用	人	目標		99,600	88,400	91,000
				実績	98,729	87,927	91,169	28,481
指標化できない成果		達成		88.3%	103.1%	31.2%		

方向	統合	課題及び改善案	市が社会教育法上の公民館を管理運営していくための経費であり、生涯学習活動の拠点として市民が利用しやすい公民館を目指します。 新型コロナウイルス感染拡大防止による貸館の停止や利用者の自粛により、来館者数の減少が見られました。今後は、公民館の再編体制(案)に基づき、令和4年度からの地区公民館の統廃合を進めます。
----	----	---------	---

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	541	生涯を通じ、生きがいをもち活躍できる	H16 年度～ R2 年度	01-10-05-05-02-01
	基本事業 ④	公民館活動事業		
	事務事業名	公民館事業経費	担当部署	部・課名等
			教育委員会中央公民館	評価責任者・連絡先
				館長 中井 芳子 0595-22-9637

事務事業の概要	対象	公民館を利用する市民、活動する団体		
	目的	公民館が教室や事業を実施し、市民が自分のニーズにあった教室を受講し学んでいくことで、生きがいのある生活の支援につながっている		
	内容	<p>各地区公民館において、各種教室講座・各種講演会の開催、青少年健全育成事業の実施・各種団体・サークル活動等の育成支援を行いました。</p> <p>①主な講座・教室・その他事業 【中央公民館】歴史文学講座・トランポリンでエクササイズ 【上野公民館】悠々セミナー・ダンスフィットネス教室・親子体験講座・参加型絵画教室「ぬりえでゴッホ展」・丑の春展他 【いがまち公民館】ナイトヨガ教室・アラカルト・英語であそぼう・いがまち展覧会他 【島ヶ原公民館】健康体操教室・園芸教室・彩々教室・人権講演会・文化作品まつり(展覧会)他 【阿山公民館】こどもちゃれんじ教室・楽がきくらぶ・いきいき生活向上講座・チャレンジバンド教室・あやま展覧会他 【大山田公民館】みんないっしょに英語であそぼう!・園芸教室・体のほぐし体操・木工教室・リズム運動教室・朝読他 【青山公民館】出前講座「身近な芸術アートを楽しもう」・オンラインセミナー「1枚の自分史」・水引き講座・子ども俳句教室・初瀬街道参宮講看板展他</p> <p>②講座・教室・その他事業の開催回数及び参加人数 中央公民館 4回 69人 上野公民館 21回 3,367人 いがまち公民館 27回 986人 島ヶ原公民館 27回 1,165人 阿山公民館 39回 947人 大山田公民館 41回 1,131人 青山公民館 31回 515人</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	報償費	726,600円	事業推進報償費(中央、いがまち、阿山、大山田、青山)	
	需用費	869,776円	(上野、いがまち、阿山、大山田、青山)	
	役務費	2,139,311円	賠償責任保険料(中央、いがまち、阿山、大山田、青山)他	
	委託料	426,000円	島ヶ原公民館業務委託料(中央)	
	使用料及び賃借料	55,180円	(上野、いがまち)	
	負担金、補助及び交付金	348,097円	サークル協議会補助金(上野、いがまち、阿山)	
	公課費	8,800円	(上野)	
	計	4,573,764円		

		項目	R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0		
		地方債	0	0	0	0		
		その他	30	95	0	0		
		一般財源	5,957	6,130	4,574	5,743		
		合計(A)	5,987	6,225	4,574	5,743		
	事業費	正規職員	業務量	5.04 人	5.04 人	2.40 人		2.30 人
			人件費	39,292	39,368	18,747		17,858
		再任用職員	業務量	人	人	1.10 人		0.74 人
			人件費	0	0	4,235		2,613
		会計年度任用職員	業務量	2.00 人	人	3.21 人		3.43 人
人件費			0	6,122	5,475			
	小計(B)	39,292	39,368	29,104	25,946			
	合計(A+B)	45,279	45,593	33,678	31,689			
	市民1人当たりのコスト(円)	494	504	372	356			

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	事業参加者数		教育行政評価等の実績から	人	目標	21,500	22,400	18,400
					実績	21,741	22,315	18,350
指標化できない成果			達成	103.8%	81.9%	44.4%		

方向	統合	課題及び改善案
		教室や講座を充実させるため、各地区公民館事業の情報共有を図るとともに、事業実施においては、参加者を増やすための工夫が必要です。今後は、公民館の再編体制(案)に基づき、令和4年度に中央公民館(生涯学習センター)への統合を進めるとともに、地域における生涯学習を推進していきます。

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	541	生涯を通じ、生きがいをもち活躍できる	H16 年度～ R2 年度	01-10-05-06-02-01
	基本事業 ④	公民館活動事業		
	事務事業名	分館活動経費	担当部署	部・課名等
			教育委員会 上野公民館	評価責任者・連絡先 館長 中井 芳子 0595-22-9637

事務事業の概要	対象	上野公民館分館・青山公民館分館利用者		
	目的	分館での学習の機会が提供され、講座受講や事業参画により、自主活動が喚起される		
	内容	<p>上野22、青山6地区で分館事業(文化祭・講演会・各種教室講座・サークル活動育成)を実施しました。</p> <p>(上野東部)人権パネル展他7事業 496,000円、(上野西部)サークル発表会他3事業 295,000円、(上野南部)囲碁教室他10事業 238,741円、(小田)寄せ植え教室他3事業 299,000円、(八幡町)絵本読み聞かせ他2事業 77,822円(久米)体験学習他20事業 293,000円、(花之木)ポッチャ大会 247,487円、(長田)サークル作品展覧会他4事業 252,000円、(新居)広報発行 297,987円、(三田)文化祭他5事業 267,000円、(諏訪)文化祭他4事業 237,000円、(府中)地区文化祭他1事業 319,000円、(中瀬)新春ウォーキング他3事業 293,000円、(友生)広報発行 274,000円、(猪田)己書体験会他10事業 266,000円、(依那古)作品展示他12事業 268,000円、(比自岐)人権講演会他5事業 237,000円、(神戸)秋季ハイキング他28事業 230,237円、(古山)古山いきいき教室他5事業 242,000円、(花垣)パネル展他1事業 257,000円、(ゆめが丘)健康教室他13事業 331,000円、(きじが台)健康体操教室他2事業 198,082円、(阿保)歴史・文化フィールドワーク他4事業 244,700円、(上津)初歩き大会他1事業 184,700円、(博要)人権研修会他7事業 162,700円、(高尾)初歩き他1事業 162,700円、(矢持)文化展他1事業 169,700円、(桐ヶ丘)介護予防教室他3事業 293,778円</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	委託料	7,134,634円	分館活動事業委託料 上野公民館22分館 5,916,356円 青山地区公民館6分館 1,218,278円	
	計	7,134,634円		

		項目	R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0		
		地方債	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0		
		一般財源	7,203	53,092	7,135	6,753		
		合計(A)	7,203	53,092	7,135	6,753		
	事業費	正規職員	業務量	0.28 人	0.28 人	1.25 人		0.90 人
			人件費	2,183	2,188	9,764		6,988
		再任用職員	業務量	人	人	0.10 人		0.12 人
			人件費	0	0	385		424
		会計年度任用職員	業務量	人	人	0.09 人		0.09 人
人件費			0	172	144			
	小計(B)	2,183	2,188	10,321	7,556			
	合計(A+B)	9,386	55,280	17,456	14,309			
	市民1人当たりのコスト(円)	103	611	193	161			

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	主催事業参加者数	各分館の委託料実績報告等から引用	人	目標	/	15,500	11,000	11,000
				実績	15,450	10,980	10,732	10,214
指標化できない成果			達成	/	70.8%	97.5%	92.8%	

方向	廃止	課題及び改善案 地区公民館分館規則に位置づけている、上野、青山の分館については、合併後も整理されていない状況の中で、課題解決を図りながら、地域の格差を是正するため、公民館の再編体制(案)に基づき体制を整えることとし、市内全域で地域ごとに生涯学習活動が行えるよう推進します。
----	----	---

整理番号	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)05社会教育費(目)07図書館費(大事業)01図書館管理経費	決算書頁
474 -		337

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	541	生涯を通じ、生きがいを持ち活躍できる	H16 年度～ R2 年度	01-10-05-07-01-01
	基本事業 ②	図書館活動推進事業	担当部署	部・課名等
事務事業名	図書館管理経費		教育委員会 上野図書館	評価責任者・連絡先 館長 中岡 久美 0595-21-6868

事務事業の概要	対象	市民及び市内在勤の方、関心を持っていただく方々すべて(一般公衆)																															
	目的	図書館法に定める国民の教育と文化の発展に寄与することを目的として図書館サービスを行う																															
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・運営業務を、(公財)伊賀市文化都市協会に委託し、市民の生涯学習の場として、蔵書や資料の充実を図りつつ、市民ニーズに応えるとともに資料提供・情報発信に努めました。 ・配送サービスや市外及び県立図書館等との相互貸借を行う中で、図書館の利便性向上と利用促進を図りました。 ・上野点字図書館が実施している録音図書の貸出サービスについて、上野図書館でも借りられる取り次ぎサービスについての紹介等のパネル展示、大活字本や布絵本の特集展示を行い、活字を読むことが困難な人の利用サービス拡大に繋がりました。また、障がいのある方への郵送貸出サービスにも取り組みました。 ・夏休みには、小学校4・5・6学年を対象とした「調べ学習」事業や、未就学児から小学生を対象とした「夜のとしよかん探検」事業を実施し、楽しみながら、図書館の使い方や調べ学習への取り組み方を学ぶ機会を設けました。 ・第16回読書感想文コンクールを実施するとともに、上野図書館から市内小中学校にセット文庫を定期配送し、児童・生徒等の読書普及に努めました。 ・伊賀古文庫刊行会に委託し、古文庫の整理に努めました。また、伊賀の歴史や民俗、ゆかりの人物についての企画展示、6・7・9・10・11・3月の第3金曜日には、「郷土の歴史夜咄会」を開催し、市民が伊賀の歴史を学ぶ機会を提供しました。 																															
事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業推進報償費</td> <td>128,000円</td> <td>読書感想文コンクール謝礼および入賞者副賞、講座講師謝金</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>1,847,512円</td> <td>新聞・雑誌等購読料 1,651,190円</td> </tr> <tr> <td>光熱水費</td> <td>5,625,137円</td> <td>電気・ガス・水道料金</td> </tr> <tr> <td>修繕料</td> <td>1,325,658円</td> <td>空調機中性性能フィルター取替、吸気式冷温水発生器修繕 等</td> </tr> <tr> <td>通信運搬費</td> <td>423,719円</td> <td>電話代・インターネット利用料等</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>55,033,561円</td> <td>上野図書館業務委託料 49,319,790円 システム保守委託料 1,938,640円 古文庫整理調査業務委託料 他 3,775,131円</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td>8,623,093円</td> <td>図書購入費(4,695冊) 8,588,993円</td> </tr> <tr> <td>その他経費</td> <td>4,732,265円</td> <td>サーバー等使用料、システム等使用料、システム等借上料 等</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>77,738,945円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	事業推進報償費	128,000円	読書感想文コンクール謝礼および入賞者副賞、講座講師謝金	消耗品費	1,847,512円	新聞・雑誌等購読料 1,651,190円	光熱水費	5,625,137円	電気・ガス・水道料金	修繕料	1,325,658円	空調機中性性能フィルター取替、吸気式冷温水発生器修繕 等	通信運搬費	423,719円	電話代・インターネット利用料等	委託料	55,033,561円	上野図書館業務委託料 49,319,790円 システム保守委託料 1,938,640円 古文庫整理調査業務委託料 他 3,775,131円	備品購入費	8,623,093円	図書購入費(4,695冊) 8,588,993円	その他経費	4,732,265円	サーバー等使用料、システム等使用料、システム等借上料 等	計	77,738,945円			
経費	金額	摘要																															
事業推進報償費	128,000円	読書感想文コンクール謝礼および入賞者副賞、講座講師謝金																															
消耗品費	1,847,512円	新聞・雑誌等購読料 1,651,190円																															
光熱水費	5,625,137円	電気・ガス・水道料金																															
修繕料	1,325,658円	空調機中性性能フィルター取替、吸気式冷温水発生器修繕 等																															
通信運搬費	423,719円	電話代・インターネット利用料等																															
委託料	55,033,561円	上野図書館業務委託料 49,319,790円 システム保守委託料 1,938,640円 古文庫整理調査業務委託料 他 3,775,131円																															
備品購入費	8,623,093円	図書購入費(4,695冊) 8,588,993円																															
その他経費	4,732,265円	サーバー等使用料、システム等使用料、システム等借上料 等																															
計	77,738,945円																																

全体コスト(千円)	項目	R元年度決算				R2年度当初予算				R2年度決算				R3年度当初予算				特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	
事業費	直接事業費	国県支出金																教育図書購入基金利子 23,202円
		地方債																教育図書購入基金運用収入 65,371円
		その他	948	717	392	2,789												図書購入寄附金 221,000円
		一般財源	89,180	78,899	77,347	79,452												複写料 39,030円
		合計(A)	90,128	79,616	77,739	82,241												書籍等売払代金 19,605円
	人件費	正規職員	業務量	2.00 人	2.00 人	1.62 人	1.75 人											弁償金 19,800円
			人件費	15,592	15,622	12,654	13,587											返還金 2,200円
		再任用職員	業務量	人	人	人	人											郵便料負担金 1,620円
			人件費	0	0	0	0											
		会計年度任用職員	業務量	1.00 人	人	0.08 人	1.00 人											
	人件費		0	153	1,596													
	小計(B)	15,592	15,622	12,807	15,183													
	合計(A+B)	105,720	95,238	90,546	97,424													
	市民1人当たりのコスト(円)	1,154	1,052	1,000	1,092													

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度				平成30年度				令和元年度				令和2年度			
				目標	実績	達成率	達成率	目標	実績	達成率	達成率	目標	実績	達成率	達成率	目標	実績	達成率	達成率
指標化できない成果	貸出冊数(分館含む)	蔵書を増やし、市全域に図書館・図書室サービスを行い利用しやすくすることで貸出冊数が増加する。	冊	目標				340,000			322,000			322,000					
				実績	336,387			320,659			284,359			273,435					
	達成							94.3%					88.3%					84.9%	

方向	充実	課題及び改善案	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい図書館を検討するにあたり、市民と一緒に図書館づくりのプロセスを踏むことが重要です。新しい図書館が、「学び・創造・憩いの広場」となる交流型図書館を目指し、市民の皆さんと一緒に考え、意見を聴くためのワークショップを開催し、図書館づくりに反映していきます。また、調べ学習や読み聞かせ事業の充実、学校図書館との連携、歴史の学びの場の提供等、市民ニーズに添った図書館サービスに取り組む中で図書館の機能をさらに充実させる必要があります。

整理番号	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)05社会教育費(目)07図書館費(大事業)01図書館管理経費	決算書頁
475 -		337

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	541 生涯を通じ、生きがいをもち活躍できる	R2 年度～ R2 年度	01-10-05-07-01-02
	基本事業	② 図書館活動推進事業	担当部署	部・課名等
事務事業名	貴重資料デジタル化事業	教育委員会 上野図書館	評価責任者・連絡先	館長 中岡 久美 0595-21-6868

事務事業の概要	対象	市民及び市内在勤の方、関心を持っていただく方々すべて(一般公衆)		
	目的	多数所蔵する古文書類の整理・保存を図る		
	内容	<p>・市等が所蔵する多くの歴史資料等をインターネット上で公開し、子どもたちが学校の授業で学ぶとともに、地域においても文化活動として役立てていただくほか、全国の人に伊賀の歴史や文化、魅力発信ツールとして活用していきます。これまで、それぞれの施設に行かなければ閲覧することができませんでしたが、令和2年度から3年度の2か年計画で、資料のデジタルアーカイブ化を行い(委託先:TRC-ADEAC株式会社)、「デジタルミュージアム 秘蔵の国 伊賀」として、市ホームページ等から、いつでも、だれでも、どこでも、簡単に見ていただけるようになりました。</p> <p>令和3年1月19日に開設し、5つのテーマの内、「芭蕉と俳諧の世界」「伊賀流忍者」「郷土資料」を公開しています。(令和2年10月12日～一部先行公開)令和2年10月から令和3年3月までの総アクセス数は、52,907件です。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	委託料	12,074,260円	貴重資料デジタル化委託料	
	使用料	198,000円	ADEACシステム使用料	
	計	12,272,260円		

		項目	R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金					提案型助成事業助成金 6,156,130円 ふるさと応援基金繰入金 5,938,020円
		地方債					
		その他		12,173	12,094	11,549	
		一般財源		100	178	426	
		合計(A)	0	12,273	12,272	11,975	
	事業費	正規職員	業務量	人	人	0.32 人	0.22 人
			人件費	0	0	2,500	1,709
		再任用職員	業務量	人	人	人	人
			人件費	0	0	0	0
		会計年度任用職員	業務量	人	人	人	人
人件費		0	0	0	0		
	小計(B)	0	0	2,500	1,709		
	合計(A+B)	0	12,273	14,772	13,684		
	市民1人当たりのコスト(円)	0	136	164	154		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	年間アクセス数		魅力あるコンテンツを作成することで、アクセス数が増加する	件	目標			55,000
					実績			52,907
	指標化できない成果		達成				96.1%	

方向	充実	課題及び改善案	より多くの人に事業の魅力を知周する必要があるため、市広報、市HP、チラシ等の手法を活用し継続して広報するとともに、さまざまな機会をとらえて、デジタルミュージアムの閲覧方法や活用方法等を紹介します。

整理番号	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)05社会教育費(目)07図書館費(大事業)02図書室運営管理経費	決算書頁
476 -		339

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	541 生涯を通じ、生きがいをもち活躍できる	H16 年度～ R2 年度	01-10-05-07-02-01
	基本事業	② 図書館活動推進事業	担当部署	部・課名等
	事務事業名	図書室運営管理経費	教育委員会 上野図書館	評価責任者・連絡先
				館長 中岡 久美 0595-21-6868

事務事業の概要	対象	市民及び市内在勤の方、関心を持っていただく方々すべて(一般公衆)		
	目的	図書館法に定める国民の教育と文化の発展に寄与することを目的として図書館サービスを行う		
	内容	<ul style="list-style-type: none"> 各分館図書室では、公民館事業と連携しつつ「図書室だより」等により、新着図書、おすすめ図書の紹介や催し物等開催の情報発信を行い、各々の地域の特性を活かした図書室運営を行う中で、利用促進に努め読書活動推進に取り組みました。 図書館情報システムの運用や配送サービスにより、身近な図書室で市内全域の図書館・図書室から資料(本)の取寄せや返却ができ、図書館のホームページから本の検索や予約ができることで利便の向上を図りました。(配送冊数: 19,393冊) 		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	消耗品費	366,288円	新聞・雑誌購入費ほか	
	通信運搬費	356,400円	インターネット利用料等	
	委託料	6,484,254円	図書室業務委託料	6,371,141円
			蔵書マーク作成業務委託料	113,113円
	機械器具借上料	987,420円	システム回線使用料	
	備品購入費	1,141,283円	図書購入費(792冊)	
	計	9,335,645円		

全体コスト(千円)	項目	R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	0	0	
	地方債	0	0			
	その他	13	4	6	4	
	一般財源	3,596	13,097	9,330	8,378	
	合計(A)	3,609	13,101	9,336	8,382	
事業費	正規職員	業務量	1.22 人	1.22 人	1.22 人	1.40 人
		人件費	9,512	9,530	9,530	10,870
	再任用職員	業務量				
		人件費	0	0	0	0
	会計年度任用職員	業務量	0.40 人		1.00 人	0.40 人
		人件費		0	1,907	639
	小計(B)	9,512	9,530	11,437	11,509	
	合計(A+B)	13,121	22,631	20,773	19,891	
	市民1人当たりのコスト(円)	144	250	230	223	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		貸出冊数(本館含む)	蔵書を増やし、市全域に図書館・図書室サービスを行い利用しやすくすることで貸出冊数が増加する。	冊	目標	340,000	322,000
				実績	336,387	320,659	273,435
	指標化できない成果		達成		94.3%	88.3%	84.9%

方向	充実	課題及び改善案 ・各分館図書室の現状を把握するとともに、地域の特性を活かし、新たなサービスも検証しながら有効的な分館図書館の運営を行います。

整理番号	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)05社会教育費(目)08教育集会所費(大事業)01教育集会所管理経費	決算書頁
477 -		341

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	512 部落差別をなくす	H16 年度～ R2 年度	01-10-05-08-01-01
	基本事業	② 隣保館・児童館・教育集会所事業	担当部署	部・課名等
事務事業名	教育集会所管理経費		教育委員会生涯学習課	評価責任者・連絡先
				課長 中井 芳子 0595-22-9679

事務事業の概要	対象	対象地域住民、周辺地域住民及び全市民		
	目的	人権同和教育を研究・推進する各教育集会所の管理・運営を行う		
	内容	<p>伊賀市教育集会所設置条例に基づき、人権感覚豊かな市民を育成し、教育集会所を拠点に実施する人権講演会や地区学習会、識字教室等への参加を促進し、人権同和教育の推進にむけて部落問題をはじめあらゆる人権課題の学習や人権啓発事業の効果的な施設利用ができるように、管理運営を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設管理、設備点検、修繕・保守管理等行いました。 予算の適正な執行と諸経費の無駄を無くし削減を目指し、実施しました。 人権同和教育研究の推進と啓発活動の拠点としての利用促進をめざして実施しました。 		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	需用費	3,408,196円	消耗品 109,053円 燃料費 264,459円 光熱水費 1,827,304円 修繕料 1,207,380円	
	役務費	317,352円	通信運搬費 254,152円 手数料 63,200円	
	委託料	511,478円	施設設備保守点検 418,000円 施設管理委託 93,478円	
	使用料及び賃借料	446,245円	自動車借上料、機械器具借上料など 446,245円	
	備品購入費	9,710円	図書購入費 9,710円	
	計	4,692,981円		

項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
全体コスト(千円)	直接事業費					
	国県支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
	一般財源	5,646	6,785	4,693	5,138	
	合計(A)	5,646	6,785	4,693	5,138	
事業費	正規職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	人
		人件費	0	0	0	0
	再任用職員	業務量	人	人	人	人
		人件費	0	0	0	0
	会計年度任用職員	業務量	人	人	人	10.40 人
		人件費		0	0	16,599
		小計(B)	0	0	0	16,599
	合計(A+B)	5,646	6,785	4,693	21,737	
	市民1人当たりのコスト(円)	62	75	52	244	

指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
施設利用者数	来所(館)者数	人	目標		21,000	21,000
			実績	20,705	20,266	17,625
指標化できない成果	隣保館利用者を含む。	達成		96.0%	83.9%	70.6%

方向	継続	課題及び改善案
		伊賀市第3次同和施策推進計画に基づき、人権同和教育推進の拠点施設とし、人権啓発・部落差別解消に取り組むとともに、経費削減・無駄をなくす施設管理運営を更に推進します。部落差別解消推進法にある相談体制の充実や教育・啓発を進める拠点施設として、多くの方が利用しやすい施設運営をさらに進める必要があります。R2年度は、新型コロナウイルス感染拡大により利用者が減少しました。

整理番号 478 -	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)05社会教育費(目)08教育集会所費(大事業)02教育集会所事業経費	決算書頁 341
---------------	---	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	531 子どもたちが、未来に夢や希望を持てる	H16 年度～ R2 年度	01-10-05-08-02-01
	基本事業	③ 人権同和教育推進事業	担当部署	部・課名等 評価責任者・連絡先
事務事業名	人権教育推進事業	教育委員会生涯学習課	課長 中井 芳子 0595-22-9679	

事務事業の概要	対象	同和地区及び周辺地域の園児・児童生徒・青年・保護者・住民及び関係教員																									
	目的	あらゆる差別に負けない差別を許さない仲間づくりを進め、人権啓発リーダーを育成する																									
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地区学習会(小中学校)、高校生友の会等の開催・支援を行いました。 ・識字、パソコン教室を開催しました。 ・地域子ども会活動の支援、地域保護者会の支援、地域青年活動の支援、地域老人クラブ活動の支援を行いました。 ・地域人権団体・地域NPO・自治会等、あらゆる世代の地域団体や支部同研組織と連携した人権同和教育研究活動及び人権啓発活動の支援を行いました。 ・関係校区教職員や伊賀市職員等対象の部落問題研修や地域フィールドワークの開催、三者(学校・教集・地域住民)連絡会議の開催、地域・周辺地域の人権同和教育推進会議(中学校ブロック)の開催、人権教育・反戦・平和等のパネル展示等を開催しました。 ・就学前から小中学校、高校、地域青年、保護者や地域住民及び周辺地域住民と共に、部落差別をはじめとするあらゆる差別の解消を目的とした、人権フェスティバルを計画しましたが、新型コロナウイルス感染対策として中止しました。 																									
事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報償費</td> <td>1,585,500円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>796,166円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>1,197,151円</td> <td>消耗品、印刷製本費</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>1,364円</td> <td>手数料</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>10,000円</td> <td>崇広中地域ぐるみの同和教育総合実践活動事業</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>50,270円</td> <td>回線使用料</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,640,451円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	報償費	1,585,500円		旅費	796,166円		需用費	1,197,151円	消耗品、印刷製本費	役務費	1,364円	手数料	委託料	10,000円	崇広中地域ぐるみの同和教育総合実践活動事業	使用料及び賃借料	50,270円	回線使用料	計	3,640,451円			
経費	金額	摘要																									
報償費	1,585,500円																										
旅費	796,166円																										
需用費	1,197,151円	消耗品、印刷製本費																									
役務費	1,364円	手数料																									
委託料	10,000円	崇広中地域ぐるみの同和教育総合実践活動事業																									
使用料及び賃借料	50,270円	回線使用料																									
計	3,640,451円																										

		項目	R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0				
		地方債	0	0				
		その他	0	0				
		一般財源	5,897	7,256	3,640	7,872		
		合計(A)	5,897	7,256	3,640	7,872		
	事業費	正規職員	業務量	0.00 人	0.00 人	人	人	
			人件費	0	0	0	0	
		再任用職員	業務量	人	人	人	人	
			人件費	0	0	0	0	
		会計年度任用職員	業務量	人	人	人	人	
小計(B)	人件費		0	0	0			
合計(A+B)		5,897	7,256	3,640	7,872			
市民1人当たりのコスト(円)			65	81	41	89		

指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標	教育集会所を拠点とした、人権教育相談・同和教育研究・啓発活動等の参加人数	人	目標	19,000	20,000	20,000
			実績	19,531	20,710	19,403
指標化できない成果		達成		109.0%	99.5%	72.8%

方向	継続	課題及び改善案	部落問題をはじめあらゆる人権問題について学び続ける機会の確保と、部落差別によって奪われた文字や文化を取り戻すための教育集会所事業と、人権同和教育の取り組みを進めていますが、依然としてあらゆる差別は存在しています。今後も、部落差別をはじめ、あらゆる差別の撤廃にむけ、部落差別解消推進法に基づき啓発や教育の推進や相談体制を確立するため、教育集会所を拠点として、継続して事業に取り組み、市民が主体的に取り組めるように人権教育推進リーダーの育成に努めていきます。
----	----	---------	---

整理番号	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)05社会教育費(目)08教育集会所費(大事業)02教育集会所事業経費	決算書頁
479 -		341

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	512 部落差別をなくす	H16 年度～ R2 年度	01-10-05-08-02-02
	基本事業	② 隣保館・児童館・教育集会所事業	担当部署	部・課名等
事務事業名	教育集会所事業経費		教育委員会生涯学習課	評価責任者・連絡先
				課長 中井 芳子 0595-22-9679

事務事業の概要	対象	同和地区における児童・生徒(高校生・大学生)及び保護者、市民		
	目的	教育的課題の解決、人権同和教育の推進と人権啓発		
	内容	<p>①次世代の人権リーダーの育成を目指して、地域の青年とともに、人権活動を通して、地域社会や自治を協働する主体者の育成を目指して事業実施しました。R3年度からは、同和教育研究推進事業へ統合し、伊賀市における人権同和教育の推進を図ります。</p> <p>②人権教育推進員の予算は、R3年度より各教育集会所で計上します。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	報償費	90,000円	人権教育推進講演会講師謝金	
	計	90,000円		

		項目	R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金					
		地方債					
		その他					
		一般財源	10,744	12,057	90		
		合計(A)	10,744	12,057	90	0	
	事業費	正規職員	業務量	0.50 人	0.20 人	0.10 人	人
			人件費	3,898	1,563	782	0
		再任用職員	業務量	人	人	0.05 人	人
			人件費	0	0	193	0
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	人	4.80 人	人
	人件費		0	9,154	0		
	小計(B)	3,898	1,563	10,129	0		
	合計(A+B)	14,642	13,620	10,219	0		
	市民1人当たりのコスト(円)	160	151	113	0		

指標名	指標の説明	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標	人権教育推進員連絡会の開催	回	目標		5	5	10
			実績	9	8	9	7
指標化できない成果		達成		160.0%	180.0%	70.0%	

方向	統合	課題及び改善案	部落差別解消推進法に基づき、教育集会所・隣保館での個々の課題解決に向けて、保育園や学校などの教育関係機関や地域の関係機関と連携を取りながら、より充実した人権同和教育の推進が必要です。今後は、同和教育研究推進事業経費として、伊賀市における社会教育現場の人権教育や啓発に関する相談体制の確立や啓発の推進に向け、生涯学習としての学習機会を構築します。

整理番号	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)05社会教育費(目)08教育集会所費(大事業)02教育集会所事業経費	決算書頁
480 -		341

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	512 部落差別をなくす	H16 年度～ R2 年度	01-10-05-08-02-03
	基本事業	② 隣保館・児童館・教育集会所事業	担当部署	部・課名等
事務事業名	教育集会所交流事業		教育委員会生涯学習課	評価責任者・連絡先 課長 中井 芳子 0595-22-9679

事務事業の概要	対象	各教育集会所に集う地区学習会や地域子ども会活動等の児童・生徒、及び各教育集会所を拠点に活動する青年		
	目的	地域の枠を越えて交流することで、広域的に活動できる人権啓発リーダーを育成する		
	内容	<p>○伊賀市教育集会所交流事業「みんなよっといで！」を実施しました。 参加者数:53名(参加児童・生徒、引率スタッフ、指導者含む) 内容:各教育集会所で開催している地区学習会の取り組み交流会を開催</p> <p>○伊賀市高校生・青年人権学習交流会を実施しました。 参加者数計:141名(高校生、青年・引率スタッフ等含む) 内容:第1回 人権教育学習会(59名) 第2回 全体交流会(57名)</p> <p>○オンライン学習会1～2回(25人)</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	謝礼	220,000円	学習会・交流会講師謝金	
	消耗品費	142,927円	交流会消耗品	
	燃料費	21,579円		
	委託料	30,000円	チラシ等作成委託料	
	計	414,506円		

		項目	R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金					
		地方債					
		その他					
		一般財源	861	757	415	742	
		合計(A)	861	757	415	742	
	事業費	正規職員	業務量	0.60 人	0.30 人	0.78 人	1.18 人
			人件費	4,678	2,344	6,093	9,162
		再任用職員	業務量	人	人	人	人
			人件費	0	0	0	0
		会計年度任用職員	業務量	人	人	人	人
	人件費		0	0	0		
	小計(B)	4,678	2,344	6,093	9,162		
	合計(A+B)	5,539	3,101	6,508	9,904		
	市民1人当たりのコスト(円)	61	35	72	111		

指標名	指標の説明	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標	参加者アンケートの満足度	%	目標		95	95	95
			実績	99.1	100	100	100
指標化できない成果			達成		105.3%	105.3%	105.3%

方向	充実	課題及び改善案	あらゆる差別の撤廃に向け、部落差別解消推進法に基づき、啓発や教育を推進する次世代の人権教育推進リーダーの育成を進めています。人権文化があふれ市民が安心して自由で自分らしく幸せに生活できる社会の構築には、あらゆる人権問題を自分事と捉え、差別をなくすために主体的に行動する人材がさらに必要であり、多くの青年層を育成するため、指導者側の人権意識の向上も含めた継続的で効率的な取り組みが今後も必要です。
----	----	---------	---

整理番号 481 -	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)05社会教育費(目)09新型感染症対策費(大事業)01新型感染症対策事業	決算書頁 343
---------------	---	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	541 生涯を通じ、生きがいをもち活躍できる	R2 年度～ R2 年度	01-10-05-09-01-01
	基本事業	② 図書館活動推進事業	担当部署	部・課名等
	事務事業名	図書館管理経費	教育委員会 上野図書館	評価責任者・連絡先 館長 中岡 久美 0595-21-6868

事務事業の概要	対象	市民及び市内在勤の方、図書館利用者		
	目的	図書館利用者が安心して図書館を利用することが出来るために、感染症防止対策のための施設環境を整える		
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・入館時等に利用者が検温と消毒を行えるよう非接触自動検温システム(消毒機付き)を導入し、また、こまめな消毒が行えるよう、手動型消毒機に加え、自動消毒機3台を館内に設置し、新型コロナウイルス感染予防に努めました。 ・利用者と職員が直接的な接触を避けつつ、安心して丁寧な対応が出来るように、カウンター内にアクリル板やビニールシートを設置しました。 ・利用者が少しでも安心して、本を読むことが出来るように、図書を除菌・消臭できる図書消毒機を設置しました。(1回につき6冊まで、30秒で除菌・消臭が可能) 		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	消耗品費	398,728円	アクリル板、アルコールディスペンサー購入等	
	備品購入費	1,100,000円	図書消毒機	803,000円
			非接触自動検温システム	297,000円
	計	1,498,728円		

		項目	R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金			1,499		総務管理費補助金 新型コロナウイルス感染症対応地方創生 1,499,000円	
		地方債						
		その他						
		一般財源						
		合計(A)	0	0	1,499	0		
	事業費	正規職員	業務量	人	人	0.03		人
			人件費	0	0	235		0
		再任用職員	業務量	人	人	人		人
			人件費	0	0	0		0
		会計年度任用職員	業務量	人	人	0.02		人
	人件費		0	39	0			
	小計(B)	0	0	274	0			
	合計(A+B)	0	0	1,773	0			
	市民1人当たりのコスト(円)	0	0	20	0			

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	図書館入館者数		図書館利用者全員が感染症に留意していく必要があるため	人	目標			90000
					実績			59,509
	指標化できない成果		達成				66.1%	

方向	完了	課題及び改善案	コロナ禍においても、安心して図書館を利用いただけるよう、さまざまな方法により設置機器の利用を周知徹底し、継続利用を促進します。

整理番号	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)05社会教育費(目)09新型コロナウイルス対策費(大事業)01新型コロナウイルス対策事業	決算書頁	343
482 -			

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	512 部落差別をなくす	H16 年度～ R2 年度	01-10-05-09-01-02
	基本事業	② 隣保館・児童館・教育集会所事業	担当部署	部・課名等
	事務事業名	教育集会所管理経費	教育委員会生涯学習課	評価責任者・連絡先
				課長 中井 芳子 0595-22-9679

事務事業の概要	対象	対象地域住民、周辺地域住民及び全市民		
	目的	人権同和教育を研究・推進する各教育集会所の管理・運営を行う		
	内容	まえがわ青少年活動センター及びまえがわ教育集会所エアコン修繕工事		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	需用費 修繕費	870,100円 544,500円	まえがわ青少年活動センターエアコン修繕工事 まえがわ教育集会所エアコン修繕工事	
	計	1,414,600円		

		項目	R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金					新型コロナウイルス感染症対策基金	
		地方債						
		その他			871			
		一般財源			544			
		合計(A)	0	0	1,415	0		
	事業費	正規職員	業務量	人	人	人		人
			人件費	0	0	0		0
		再任用職員	業務量	人	人	人		人
			人件費	0	0	0		0
		会計年度任用職員	業務量	人	人	人		人
人件費		0	0	0	0			
	小計(B)	0	0	0	0			
	合計(A+B)	0	0	1,415	0			
	市民1人当たりのコスト(円)	0	0	16	0			

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				目標			
				実績			
	指標化できない成果	空調設備の修繕を行い、感染症対策として十分な換気が行えるようになりました。		達成			

方向	完了	課題及び改善案	<p>今だ解決させていない部落差別をはじめあらゆる差別をなくすため、差別を許さない人材を育成する施設の活用を進めるとともに、経費を節減し無駄のない施設管理運営をさらに進めます。</p>

整理番号 483 -	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)05社会教育費(目)09新型コロナウイルス対策費(大事業)01新型コロナウイルス対策事業	決算書頁 343
---------------	---	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	541 生涯を通じ、生きがいをもち活躍できる	R2 年度～ R2 年度	01-10-05-09-01-03
	基本事業	④ 公民館活動事業	担当部署	部・課名等
	事務事業名	公民館事業経費	教育委員会生涯学習課	評価責任者・連絡先 課長 中井 芳子 0595-22-9637

事務事業の概要	対象	公民館を利用する市民、活動する団体		
	目的	公民館が教室や事業を実施し、市民が自分のニーズにあった教室を受講し学んでいくことで、生きがいのある生活の支援につながっている		
	内容	新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、少人数での講座・教室を開催していくことにより、会場へ参加できない人への対応やデジタルトランスフォーメーションの推進を図るため、リモート講座等の実施に必要な機材を整備しました。		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	備品購入費	227,700円	ノートパソコン、ビデオカメラ、撮影用ライト、Webカメラ、スピーカーフォン(各1台)	
	計	227,700円		

		項目	R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金			228		新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	
		地方債			0			
		その他			0			
		一般財源			0			
		合計(A)	0	0	228	0		
	事業費	正規職員	業務量	人	人	人		人
			人件費	0	0	0		0
		再任用職員	業務量	人	人	人		人
			人件費	0	0	0		0
		会計年度任用職員	業務量	人	人	人		人
小計(B)	0	0	0	0				
合計(A+B)	0	0	228	0				
市民1人当たりのコスト(円)		0	0	3	0			

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				目標			
				実績			
	指標化できない成果	リモート講座等の実施に必要な機器の整備を行い新しい生活様式へ対応可能となりました。		達成			

方向	完了	課題及び改善案 年度末にパソコン等の機材を購入し、令和3年度以降には生涯学習を推進するためのツールとして、各種公民館講座・教室や講演会を行う際に会場開催と併せてリモート講座を実施していくなど、新しい生活様式に応じて参加者を増やすための工夫をしていきます。

整理番号	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)06保健体育費(目)01保健体育総務費(大事業)02一般事務経費	決算書頁
484 -		343

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	623 気軽にスポーツを楽しむことができる	H16 年度～ R2 年度	01-10-06-01-02-01
	基本事業	① スポーツ振興事業	担当部署	部・課名等 企画振興部スポーツ振興課
	事務事業名	一般事務経費		評価責任者・連絡先 課長 福森 靖 0595-22-9635

事務事業の概要	対象	市民、地域		
	目的	だれもが気軽に楽しめるスポーツの推進を図る		
	内容	<p>○スポーツ推進のための審議会を4回開催し、報酬、事務経費、関係団体加盟負担金を支出しました。</p> <p>①スポーツ推進審議会審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育施設再編計画の素案について ・体育施設再編計画の中間案について ・上野運動公園多目的グラウンドの設置について <p>②各団体への加盟負担金を支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三重県スポーツ協会負担金 ・三重県スポーツ推進委員連絡協議会負担金 ・三重県体育施設協会負担金 ・三重県海洋センター連絡協議会負担金 ・地域活性化推進首長連合会費 		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	報酬	234,000円	伊賀市スポーツ推進審議会委員報酬	
	使用料及び賃借料	250,000円	クレー射撃用地借上料(蓮池区)	
	負担金、補助金及び交付金	1,602,028円	三重県スポーツ協会負担金 261,078円 三重県スポーツ推進委員連絡協議会負担金 154,000円 三重県海洋センター連絡協議会負担金 100,000円 地域活性化推進首長連合会費 100,000円 三重県体育施設協会負担金 10,000円 三重県中学校体育連盟負担金 586,170円 伊賀地区中学校体育連盟負担金 390,780円	
	その他	247,597円	スポーツ推進審議会委員旅費等	
	計	2,333,625円		

		項目	R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金					【その他特定財源】 ①土地建物貸付料	
		地方債						
		その他	250	250	250	250		
		一般財源	2,391	2,897	2,084	975		
		合計(A)	2,641	3,147	2,334	1,225		
	事業費	正規職員	業務量	1.00 人	1.00 人	1.00 人		1.00 人
			人件費	7,796	7,811	7,811		7,764
		再任用職員	業務量	人	人	人		人
			人件費	0	0	0		0
		会計年度任用職員	業務量	人	人	人		人
	人件費		0	0	0			
	小計(B)	7,796	7,811	7,811	7,764			
	合計(A+B)	10,437	10,958	10,145	8,989			
	市民1人当たりのコスト(円)	114	121	113	101			

指標名	指標の説明	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標	スポーツイベントへの参加者数	人	目標		7,000	7,000	7,000
			実績	6,029	6,122	6,039	887
指標化できない成果	体育協会加盟団体等が実施した大会等の参加者数	達成		87.5%	86.3%	12.7%	

方向	継続	課題及び改善案	毎年決まった負担金等の支払い事務の為、特に課題はない。
----	----	---------	-----------------------------

整理番号 485 -	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)06保健体育費(目)01保健体育総務費(大事業)03スポーツ活動振 興事業	決算書頁 343
---------------	---	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	623 気軽にスポーツを楽しむことができる	H16 年度～ R2 年度	01-10-06-01-03-01
	基本事業	① スポーツ振興事業	担当部署	部・課名等 企画振興部スポーツ振興課
事務事業名	スポーツ活動振興事業			評価責任者・連絡先 課長 福森 靖 0595-22-9635

事務事業の概要	対象	市民																				
	目的	スポーツ組織・団体を支援し世界で活躍するスポーツ選手を育成する。また、各種イベントを支援し、市民のスポーツに対する意識の向上と地域の活性化を図る																				
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ競技の国際、全国大会出場者に奨励金を交付しました。(13件 63人) ・社会体育振興事業並びに青少年スポーツ活動育成事業を実施しました。 ・市民参加型スポーツイベントを1回開催しました。11/16～11/29 伊賀上野シティマラソン(オンライン) 887人 ・魅せるスポーツ事業への支援として、伊賀FCくノ一の活動を支援しました。 																				
事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報酬</td> <td>771,000円</td> <td>スポーツ推進委員報酬</td> </tr> <tr> <td>報償費</td> <td>220,000円</td> <td>全国大会出場選手奨励金</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>7,397,979円</td> <td>社会体育振興事業委託料 (伊賀市スポーツ協会) 4,405,644円 青少年スポーツ活動育成事業委託料(伊賀市スポ少)ほか 2,992,335円</td> </tr> <tr> <td>負担金・補助金及び交付金</td> <td>9,575,414円</td> <td>伊賀フットボールクラブ運営助成金 4,500,000円 伊賀上野シティマラソン事業補助金 1,600,000円 伊賀市スポーツ協会運営補助金ほか 3,475,414円</td> </tr> <tr> <td>その他事務経費</td> <td>778,030円</td> <td>旅費、需用費、役務費、使用料及び賃借料ほか</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>18,742,423円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	報酬	771,000円	スポーツ推進委員報酬	報償費	220,000円	全国大会出場選手奨励金	委託料	7,397,979円	社会体育振興事業委託料 (伊賀市スポーツ協会) 4,405,644円 青少年スポーツ活動育成事業委託料(伊賀市スポ少)ほか 2,992,335円	負担金・補助金及び交付金	9,575,414円	伊賀フットボールクラブ運営助成金 4,500,000円 伊賀上野シティマラソン事業補助金 1,600,000円 伊賀市スポーツ協会運営補助金ほか 3,475,414円	その他事務経費	778,030円	旅費、需用費、役務費、使用料及び賃借料ほか	計	18,742,423円	
経費	金額	摘要																				
報酬	771,000円	スポーツ推進委員報酬																				
報償費	220,000円	全国大会出場選手奨励金																				
委託料	7,397,979円	社会体育振興事業委託料 (伊賀市スポーツ協会) 4,405,644円 青少年スポーツ活動育成事業委託料(伊賀市スポ少)ほか 2,992,335円																				
負担金・補助金及び交付金	9,575,414円	伊賀フットボールクラブ運営助成金 4,500,000円 伊賀上野シティマラソン事業補助金 1,600,000円 伊賀市スポーツ協会運営補助金ほか 3,475,414円																				
その他事務経費	778,030円	旅費、需用費、役務費、使用料及び賃借料ほか																				
計	18,742,423円																					

		項目	R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金					【その他特定財源】 ①日・独親善少年サッカー交流基金利子 ②ふるさと応援基金繰入金 ③海洋センター助成金	
		地方債						
		その他	2	4,421	1,992	3,063		
		一般財源	23,436	22,207	16,751	20,979		
		合計(A)	23,438	26,628	18,743	24,042		
	事業費	正規職員	業務量	3.07 人	3.07 人	3.07 人		3.07 人
			人件費	23,934	23,980	23,980		23,836
		再任用職員	業務量	人	人	人		人
			人件費	0	0	0		0
		会計年度任用職員	業務量	人	人	人		人
人件費		0	0	0				
小計(B)	23,934	23,980	23,980	23,836				
合計(A+B)	47,372	50,608	42,723	47,878				
市民1人当たりのコスト(円)		517	559	472	537			

指標名	指標の説明	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標	スポーツイベントへの参加者数	人	目標		7,000	7,000	7,000
			実績	6,029	6,122	6,039	887
指標化できない成果	体育協会加盟団体等が実施した大会等の参加者数	達成		87.5%	86.3%	12.7%	

方向	継続	課題及び改善案	市民がスポーツを楽しむ機会を提供するにあたり、活動を支えるスポーツ推進委員の役割が重要である。この為指導技術等の向上を図るとともに活動目的等を明確にし、併せて地域実態に見合った委員数の見直しを行う。
----	----	---------	---

整理番号	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)06保健体育費(目)01保健体育総務費(大事業)04国体事業経費	決算書頁
486 -		345

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	623 気軽にスポーツを楽しむことができる	H28 年度～ R2 年度	01-10-06-01-04-01
	基本事業	③ 三重とこわか国体推進事業	担当部署	部・課名等 企画振興部国体推進課
事務事業名	三重国体推進経費		評価責任者・連絡先 課長 佃 忠俊 0595-43-9100	

事務事業の概要	対象	国民								
	目的	2021年に開催する三重国体の準備を行う								
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・国体推進課職員(正規職員4名、会計年度任用職員2名)合計6名を増員。(正規職員12名、会計年度任用職員2名) ・三重とこわか国体伊賀市実行委員会各種会議の開催 総会2回、常任委員会1回、専門委員会7回(総務企画2回、競技式典2回、宿泊衛生3回)、うち書面決議5回 ・広報啓発活動の実施 市広報への毎月の掲載、市Facebook掲載72回、ウィークリー伊賀市放送9回、文字放送5回、実行委員会Twitter368回 ・イベントへの出店4回、啓発活動2回、公用車にラッピング施工 ・ポスターコンクールの実施:35作品の応募があり、最優秀賞作品を原画として啓発ポスター作成 ・おもてなし大作戦(STOP! 横断歩道、クリーンアップ運動)の推進のため、チラシを全戸配布 ・木製カウントダウンだんじり製作を伊賀白鳳高等学校工芸部へ依頼 ・選手・監督への手作り記念品として、伊賀くみひもミサガの作り手を募集して、1,400個を作成 ・ボランティア募集の推進:101人 ・鹿児島国体が延期となったため視察はすべて中止。開催前年度の準備状況を学ぶため鹿児島県島市で開催された情報交換会へ参加(6人)。岡山県で開催の軟式野球大会を視察(2人)。 ・当市で予定していた5競技のリハーサル大会もすべて中止。本大会に向けての競技会運営や市職員の従事内容の確認や経験が出来なかった。 								
事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>負担金、補助金及び交付金</td> <td>35,267,648円</td> <td>三重国体伊賀市実行委員会負担金 35,267,648円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>35,267,648円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	負担金、補助金及び交付金	35,267,648円	三重国体伊賀市実行委員会負担金 35,267,648円	計	35,267,648円	
経費	金額	摘要								
負担金、補助金及び交付金	35,267,648円	三重国体伊賀市実行委員会負担金 35,267,648円								
計	35,267,648円									

全体コスト(千円)	項目	R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	549	99,407	
	地方債	0	0		0	
	その他	0	0		0	
	一般財源	9,522	77,567	18,017	240,857	
	合計(A)	10,071	176,974	35,268	394,000	
事業費	正規職員	業務量	7.00 人	11.00 人	11.00 人	12.00 人
		人件費	54,572	85,921	85,921	93,168
	再任用職員	業務量	1.00 人	1.00 人	1.00 人	1.00 人
		人件費	3,959	3,850	3,850	3,531
	会計年度任用職員	業務量	人	3.00 人	1.42 人	5.00 人
人件費			5,721	2,708	7,980	
	小計(B)	58,531	95,492	92,479	104,679	
	合計(A+B)	68,602	272,466	127,747	498,679	
	市民1人当たりのコスト(円)	749	3,009	1,411	5,587	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	三重国体開催準備	国体開催準備のための先催地視察	種目	目標		5	5	5
				実績	5	5	5	1
指標化できない成果			達成		100.0%	100.0%	20.0%	

方向	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度が事業開催の年度であり、新型コロナウイルスの感染拡大の中、安心安全な競技会を成功させるため、すべての競技会関係者に対し、感染防止対策の徹底を図る。 ・令和2年度に予定していたリハーサル大会がすべて中止となり、競技役員や市職員等の運営側の経験や懸案事項の洗い出しが出来なかったことによる不安を、事前研修やマニュアル等により補う。 ・国体開催により、伊賀市の魅力を全国に伝え、再び伊賀市を訪れたいと思っただけのよう、全国から伊賀市へ訪れる選手や競技会関係者におもてなしの心を持って接する。
	課題及び改善案	

整理番号	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)06保健体育費(目)02学校給食管理費(大事業)02学校給食管理経費	決算書頁
487 -		345

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	532 子どもたちが、安心して学べる	H16 年度～ R2 年度	01-10-06-02-02-01
	基本事業	② 学校施設整備事業	担当部署	部・課名等
	事務事業名	学校給食管理経費	教育委員会教育総務課	評価責任者・連絡先
				課長 東 浩一 0595-22-9644

事務事業の概要	対象	自校方式による給食実施小中学校		
	目的	安全・安心な学校給食を提供できるよう、調理環境の整備を行う		
	内容	<p>学校給食衛生管理基準に基づき、自校で給食を実施する7校(内中学校1校)を対象に、給食調理員の検便検査、調理場消毒を実施したほか、石鹼液、消毒アルコール、ペーパータオル等の衛生用品(消耗品)の配備や調理器具、施設の修繕を行うとともに、劣化した食器消毒保管庫や保冷庫などの備品を購入しました。</p> <p>また、地産地消を推進するため、伊賀米や伊賀産菜種油購入にかかる補助金を支出しました。</p> <p>いごっこ給食センター元気の稼働に伴い、対象校13校に教育活動(配膳)サポーターを配置しました。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	消耗品費	4,022,130円	学校配当	2,553,479円
			学校給食保存食経費	551,746円
			調理員貸与被服	915,255円
			ほか	
	手数料	1,467,418円	給食調理員検便検査手数料	1,467,418円
	委託料	152,988円	学校給食調理場消毒業務委託料	149,820円
			ほか	
	負担金、補助及び交付金	3,816,673円	伊賀米米飯給食補助金	3,486,673円
			ほか	
	その他事務経費	3,649,652円	備品購入費	2,189,880円
			ほか	
	計	13,108,861円		

全体コスト(千円)	項目	R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	0	0	
	地方債	0	0	0	0	
	その他	0	4,154	3,668	4,044	
	一般財源	20,084	47,083	9,441	8,652	
	合計(A)	20,084	51,237	13,109	12,696	
事業費	正規職員	業務量	0.20 人	0.20 人	0.10 人	0.20 人
		人件費	1,560	1,563	782	1,553
	再任用職員	業務量	人	人	人	人
		人件費	0	0	0	0
	会計年度任用職員	業務量	人	人	13.00 人	人
		人件費		0	24,791	0
	小計(B)	1,560	1,563	25,573	1,553	
	合計(A+B)	21,644	52,800	38,682	14,249	
	市民1人当たりのコスト(円)	237	583	428	160	

指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標	自校方式校における給食実施予定日での給食実施率	%	目標	100	100	100
			実績	99.5	98.0	92
指標化できない成果		達成		98.0%	92.0%	93.3%

方向	継続	課題及び改善案	学校給食を継続して安定的に提供する必要があるため、給食の安全性を保つための施設管理はもとより、衛生管理の指導を継続していく。

整理番号	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)06保健体育費(目)02学校給食管理費(大事業)02学校給食管理経費	決算書頁
488 -		345

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	532 子どもたちが、安心して学べる	H16 年度～ R2 年度	01-10-06-02-02-02
	基本事業	③ 給食センター運営管理・建設事業	担当部署	部・課名等
事務事業名	給食センター管理運営経費		教育委員会事務局給食センター	評価責任者・連絡先
				所長 岡澤 勝彦 0595-41-0888

事務事業の概要	対象	給食センターから配食を受ける児童、生徒		
	目的	地場産(伊賀産・三重県産)の使用割合平均30%を維持し、安心・安全な給食を提供する。		
	内容	<p>①いがっこ給食センター夢(1日当りの調理数2,430食)、いがっこ給食センター元気(1日当りの調理数1,890食)、大山田給食センター(1日当りの調理数460食)の管理運営を行った。</p> <p>②食育の推進 地元食材を紹介する「給食だより」の発行と伊賀市ホームページへの献立表の掲載を毎月行った。児童の施設見学、必要に応じて各学校へ残食率の資料提供を行った。</p> <p>③地場産食材の優先活用 食材に地場産、特に伊賀産を優先的に取り入れるため、JAなどの納入業者と連携し、物資の確保や価格の調整を図った。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	消耗品費	3,288,111円	厨房機器用部品 ほか	
	燃料費	2,382,451円	プロパンガス、ボイラー燃料	
	光熱水費	3,295,707円	電気・上下水道料金	
	修繕料	4,040,715円	施設・厨房機器等修理 ほか	
	委託料	286,382,819円	施設維持管理:害虫防除、圧力容器点検整備・性能検査 610,500円 施設管理運営:調理及び配送等業務委託((株)伊賀学校給食サービス、(株)マルタマフーズ) 275,928,276円 設備保守点検:汚水処理施設、ボイラー、電気工作物 ほか 6,989,543円 廃棄物処理ほか:PFIアドバイザリー業務((株)百五総合研究所) 2,854,500円 廃棄物処理委託料((株)エム・シー・エスほか)ほか	
	その他	2,615,480円	通信運搬費、手数料 ほか	
	計	302,005,283円		

		項目	R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金						
		地方債						
		その他						
		一般財源	164,465	312,511	302,005	303,278		
		合計(A)	164,465	312,511	302,005	303,278		
	事業費	正規職員	業務量	10.00 人	6.85 人	4.71 人	7.00 人	
			人件費	77,960	53,506	36,790	54,348	
		再任用職員	業務量	1.00 人	2.00 人	0.84 人	2.00 人	
			人件費	3,959	7,700	3,234	7,062	
		会計年度任用職員	業務量	14.00 人	5.00 人	2.10 人	5.00 人	
	人件費		9,535	4,005	7,980			
	小計(B)	81,919	70,741	44,029	69,390			
	合計(A+B)	246,384	383,252	346,034	372,668			
	市民1人当たりのコスト(円)	2,688	4,232	3,821	4,175			

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	地場産率	伊賀産・三重県産の使用	%	目標		30	30	30
				実績	28.0	28.0	29.8	33
指標化できない成果			達成		93.3%	99.3%	110.0%	

方向	継続	課題及び改善案 「見える給食」を提供するため、情報の発信や施設見学の受け入れで、子どもたちや地域教師との交流を図る。また、教科に関連した食材や子どもたちのリクエストメニューを給食に取り入れるなど、食教育の充実を図ることで、残食の割合を減らすことに繋げていく。野菜の出荷量は天候に左右されやすく、安定した調達に難しいものの、1食単価を考え、可能な限り地元食材の使用に努める。

整理番号	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)06保健体育費(目)02学校給食管理費(大事業)03小学校給食センター建設事業	決算書頁
489 -		347

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	532 子どもたちが、安心して学べる	H28 年度～ R2 年度	01-10-06-02-03-01
	基本事業	③ 給食センター運営管理・建設事業	担当部署	部・課名等
	事務事業名	小学校給食センター建設事業(繰越事業)	教育委員会教育総務課	評価責任者・連絡先
				課長 東 浩一 0595-22-9644

事務事業の概要	対象	小学校を対象とした新給食センターの整備を行う。		
	目的	安全・安心な学校給食を提供できるよう、調理環境の整備を行う		
	内容	新給食センターの整備に伴い、配送校(中瀬小、三訪小、神戸小、依那古小、成和東小、成和西小、壬生野小、柘植小、西柘植小)の給食室改修工事を行いました。		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	工事請負費	28,455,954円	小学校施設改修工事費	
	計	28,455,954円		

		項目	R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	182,502	0	0	0		
		地方債	960,400	0	27,000	0		
		その他	0	0	0	0		
		一般財源	165,257	0	1,456	0		
		合計(A)	1,308,159	0	28,456	0		
	事業費	正規職員	業務量	0.45 人	人	0.10 人		人
			人件費	3,509	0	782		0
		再任用職員	業務量	人	人	人		人
			人件費	0	0	0		0
		会計年度任用職員	業務量	人	人	人		人
	人件費		0	0	0			
	小計(B)	3,509	0	782	0			
	合計(A+B)	1,311,668	0	29,238	0			
	市民1人当たりのコスト(円)	14,307	0	323	0			

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	事業達成率	計画工事に対する完成率	%	目標		80	100	100
				実績	50	80	100	100
指標化できない成果			達成		100.0%	100.0%	100.0%	

方向	完了	課題及び改善案

整理番号	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)06保健体育費(目)02学校給食管理費(大事業)04給食施設改修事業	決算書頁
490 -		347

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	532 子どもたちが、安心して学べる	H16 年度～ R2 年度	01-10-06-02-04-01
	基本事業	③ 給食センター運営管理・建設事業	担当部署	部・課名等
事務事業名	給食施設改修事業		教育委員会事務局給食センター	評価責任者・連絡先 所長 岡澤 勝彦 0595-41-0888

事務事業の概要	対象	給食センターから配食を受ける児童、生徒		
	目的	安心・安全な給食を提供する		
	内容	①安心・安全な給食を提供するために、より衛生的な設備で運営することが重要であることから、主に衛生関係設備の更新を行った。 ②施設老朽化による雨漏りのため、屋根の修繕を行った。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	補修・改修工事費	3,498,000円	便所他改修工事(いがっこ給食センター夢)	
	修繕料	291,500円	雨漏り屋根補修工事(大山田給食センター)	
	計	3,789,500円		

項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金		3,498		補修・改修工事費 3,498,000円 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金
		地方債				
		その他				
		一般財源	4,305	292		
		合計(A)	0	4,305	3,790	
事業費	正規職員	業務量	人	0.15 人	0.15 人	人
		人件費	0	1,172	1,172	0
	再任用職員	業務量	人	人	人	人
		人件費	0	0	0	0
	会計年度任用職員	業務量	人	人	人	人
		人件費		0	0	0
	小計(B)	0	1,172	1,172	0	
合計(A+B)	0	5,477	4,962	0		
市民1人当たりのコスト(円)		0	61	55	0	

指標名	指標の説明	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
進捗率	補修工事等の進捗率	%	目標				100
			実績				100
指標化できない成果			達成				100.0%

方向	継続	課題及び改善案	特に老朽化した施設については、配食に支障を来たす事の無いよう、統合等を含めた適正な運用計画と予防的な修繕が必要。

整理番号	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)06保健体育費(目)03社会体育施設費(大事業)01体育施設管理運営経費	決算書頁
491 -		349

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	623 気軽にスポーツを楽しむことができる	H16 年度～ R2 年度	01-10-06-03-01-01
	基本事業	② スポーツ施設整備・維持管理事業	担当部署	部・課名等 企画振興部スポーツ振興課
	事務事業名	体育施設維持管理経費		評価責任者・連絡先 課長 福森 靖 0595-22-9635

事務事業の概要	対象	市民(体育施設利用者)		
	目的	施設を安全かつ快適に利用できるよう維持管理の充実を図り、健康増進を図る場として提供する		
	内容	<p>指定管理者制度を導入することにより、民間事業者の柔軟な発想を活かした経営手法や運営ノウハウを活用し、サービスの向上、利用者ニーズへのより迅速な対応、施設の有効活用及び管理経費の削減を図った。</p> <p>上野運動公園【野球場6,207人(対前年比(以降省略)70.6%)・競技場7,347人(43.8%)・スポーツセンター119人(21.4%)・テニスコート8,036人(94.3%)】・伊賀上野武道館6,084人(73.6%)・上野緑ヶ丘テニスコート9,448人(97.1%)・ゆめが丘テニスコート3,550人(68.1%)・ゆめが丘多目的広場3,524人(39.9%)・島ヶ原運動場4,904人(74.9%)・阿山第1運動公園5,110人(11.6%)・阿山運動公園テニスコート935人(69.1%)・すぱーく阿山12,914人(24.9%)阿山第2運動公園700人(5.6%)・阿山B&G海洋センター22,416人(62.8%)・大山田B&G海洋センター16,053人(71.9%)・青山テニスコート118人(69.8%)・青山グラウンド8,156人(83.3%)・大山田東体育館・グラウンド3,351人(139.9%)・いがまちスポーツセンター多目的グラウンド6,056人(42.4%)いがまちスポーツセンターテニスコート687人(83.0%)・伊賀市直営施設4設1,407人(54.8%)・しらさぎ運動公園13,077人(63.5%)・伊賀市民弓道場1,901人(83.1%)・伊賀市民体育館18,054人(78.1%)・伊賀市民体育館管理棟1,616人(46.9%)</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	需用費	703,462円	光熱水費 205,987円 修繕料 497,475円	
	委託料	138,708,610円	伊賀市体育施設指定管理料(伊賀市文化都市協会) 125,207,714円 いがまちスポーツセンター指定管理料(いがまちsc) 10,688,000円 大山田東体育館・グラウンド指定管理料(阿波自治協) 2,499,000円 体育施設維持管理委託料(中部電気保安協会、(株)ビルドコーポレーション) 313,896円	
	使用料及び賃借料	355,248円	機械器具借上料(AED6台) (三重総合警備保障(株)、シャープファイナンス(株)、国際セーフティ(株))	
	役務費	10,800円	高尾体育館浄化槽手数料 8,000円 市民体育館浄化槽手数料 2,800円	
	計	139,778,120円		

全体コスト(千円)	直接事業費	項目	R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) 【その他特定財源】 ①体育施設使用料 ②行政財産目的外使用料
		国県支出金					
		地方債					
		その他	26	70	133	60	
		一般財源	126,492	139,837	139,646	146,087	
	合計(A)	126,518	139,907	139,779	146,147		
	事業費	正規職員	業務量	0.37 人	0.37 人	0.37 人	0.40 人
			人件費	2,885	2,891	2,891	3,106
		再任用職員	業務量	人	人	人	人
			人件費	0	0	0	0
会計年度任用職員		業務量	人	人	人	人	
	人件費		0	0	0		
小計(B)	2,885	2,891	2,891	3,106			
合計(A+B)	129,403	142,798	142,670	149,253			
市民1人当たりのコスト(円)	1,412	1,577	1,576	1,673			

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	スポーツ施設利用者数	スポーツ振興を推進するうえで、市内体育施設の利用者数を成果指標とする。	人	目標		360,000	360,000
				実績	357,002	342,532	322,347
指標化できない成果	県営ゆめドーム施設利用者数	達成		95.1%	89.5%	44.9%	

方向	継続	課題及び改善案	スポーツ施設の多くが老朽化し修繕が必要であること、また零細類似施設が市内に分散していることなどから効率的な利用及び維持管理の適正化を図ることを目的にスポーツ施設再編整備計画を策定し今後のスポーツ施設の適正な維持管理を進めることとする。

整理番号	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)06保健体育費(目)03社会体育施設費(大事業)02体育施設整備事業	決算書頁
492 -		349

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	623 気軽にスポーツを楽しむことができる	H16 年度～ R2 年度	01-10-06-03-02-01
	基本事業	② スポーツ施設整備・維持管理事業	担当部署	部・課名等 評価責任者・連絡先
	事務事業名	体育施設整備事業	企画振興部スポーツ振興課	課長 福森 靖 0595-22-9635

事務事業の概要	対象	市民(体育施設利用者)		
	目的	スポーツ・レクリエーションの場として体育施設を整備し、広く市民及び市民以外の余暇の活用、健康増進に寄与する		
	内容	公共施設最適化計画に基づき老朽化している施設を解体するとともに、大規模修繕を実施しました。 ・阿山B&G海洋センター高圧受電設備改修工事設計業務委託 (MORI建築設計室) ・上野運動公園多目的広場整備工事(第1期) ((株)後出建材土木) ・阿山B&G海洋センター高圧受電設備改修工事 ((株)三和電気商会) ・青山グラウンド照明設備改修工事 (山森電機設備(株)) ・大山田B&G海洋センター排水設備改修工事 ((株)竹島建設) ・上野運動公園野球場内野整備工事 (長谷川体育施設(株))		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	消耗品	18,678円		
	修繕料	335,500円	上野運動公園多目的グラウンド移動式フードベンチ修繕	
	委託料	968,000円	阿山B&G海洋センター高圧受電設備改修工事設計業務委託	935,000円
			阿山B&G海洋センタートランスPCB含有検査委託(中部電気保安協会)	33,000円
	工事請負費	80,637,700円	上野運動公園 多目的広場整備工事(第1期)	42,187,200円
			阿山B&G海洋センター高圧受電設備改修工事	21,038,600円
			青山グラウンド照明設備改修工事	1,210,000円
			大山田B&G海洋センター排水設備改修工事	5,698,000円
			上野運動公園野球場内野整備工事ほか	10,503,900円
	備品購入費	1,293,545円	上野運動公園多目的グラウンドネット(1,016,345円)ほか	
	計	83,253,423円		

		項目	R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金					【地方債】 ①社会体育施設整備事業 ②農業集落排水接続事業 【その他特定財源】 ①海洋センター助成金	
		地方債	48,500	52,100	45,600			
		その他			336	5,357		
		一般財源	35,067	34,520	37,318	1,810		
		合計(A)	83,567	86,620	83,254	7,167		
	事業費	正規職員	業務量	0.37 人	0.37 人	0.50 人		0.50 人
			人件費	2,885	2,891	3,906		3,882
		再任用職員	業務量	人	人	人		人
			人件費	0	0	0		0
		会計年度任用職員	業務量	人	人	人		人
人件費		0	0	0				
	小計(B)	2,885	2,891	3,906	3,882			
	合計(A+B)	86,452	89,511	87,160	11,049			
	市民1人当たりのコスト(円)	943	989	963	124			

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	施設の新設・大規模改修施設数	体育施設の施設整備及び大規模改修等を行った施設数	箇所	目標		2	3	3
				実績	1	2	3	4
指標化できない成果			達成		100.0%	100.0%	133.3%	

方向	継続	課題及び改善案	老朽化や零細施設が分散立地する等の課題があるため、スポーツ施設再編・整備計画による「維持」、「廃止」、「他機能化」などの方向性に基づき整備を行い、効率的な施設運営を行う。また利用時における安全・安心、利便性に加え多様なスポーツ種目ニーズにも対応できるよう財源にも留意しながら実施することとする。

整理番号	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)06保健体育費(目)04新型感染症対策費(大事業)01新型感染症対策事業	決算書頁
493 -		349

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	532 子どもたちが、安心して学べる	R2 年度～ R2 年度	01-10-06-04-01-01
	基本事業	③ 給食センター運営管理・建設事業	担当部署	部・課名等
	事務事業名	給食センター管理運営経費	教育委員会事務局給食センター	評価責任者・連絡先
				所長 岡澤 勝彦 0595-41-0888

事務事業の概要	対象	給食センターから配食を受ける児童、生徒及び保護者		
	目的	新型コロナウイルス感染拡大防止による臨時休業に伴う対応及び保護者の負担軽減		
	内容	①新型コロナウイルス感染拡大防止策等による家計状況の急変により、修学困難が予想されることから、児童・生徒の給食無償化を実施した。 ②新型コロナウイルス感染拡大防止策による臨時休業に伴う給食材料費を補償した。(令和2年4月・5月分)		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	賄材料費	131,848,302円	給食無償化・材料費補償	
	計	131,848,302円		

項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金		131,848		新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金
		地方債				
		その他				
		一般財源	0	0		
		合計(A)	0	0	131,848	
事業費	正規職員	業務量	人	2.14	人	
		人件費	0	0	16,716	0
	再任用職員	業務量	人	1.16	人	
		人件費	0	0	4,466	0
	会計年度任用職員	業務量	人	2.90	人	
		人件費		0	5,531	0
	小計(B)	0	0	26,713	0	
合計(A+B)	0	0	158,561	0		
市民1人当たりのコスト(円)		0	0	1,751	0	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
			%	目標				
				実績				
	指標化できない成果	保護者の負担軽減	達成					

方向	完了	課題及び改善案

整理番号	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)06保健体育費(目)04新型コロナウイルス対策費(大事業)01新型コロナウイルス対策事業	決算書頁
494 -		349

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	531 子どもたちが、未来に夢や希望を持てる	R2 年度～ R2 年度	01-10-06-04-01-02
	基本事業	⑤ 児童生徒支援事業	担当部署	部・課名等
	事務事業名	学校給食管理経費	教育委員会学校教育課	評価責任者・連絡先
				課長 二井 英夫 0595-22-9648

事務事業の概要	対象	市内小中学校児童生徒及び保護者		
	目的	新型コロナウイルス感染症拡大防止による臨時休業により学校給食休止に伴う保護者負担を軽減する		
	内容	4月及び5月の急な臨時休業による学校給食休止に伴い、4月・5月分の保護者負担となる給食材料費のキャンセル料を免除し、補償しました。(自校給食6小学校、1中学校分) また、保護者の負担を軽減するため、学校再開後の7ヶ月間(令和2年6月～12月)の給食費を無償化しました。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	賄材料費	78,130,113円		
	計	78,130,113円		

		項目	R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金			78,130		新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(補助率10/10)	
		地方債			0			
		その他			0			
		一般財源			0			
		合計(A)	0	0	78,130	0		
	事業費	正規職員	業務量	人	人	0.02		人
			人件費	0	0	157		0
		再任用職員	業務量	人	人	人		人
			人件費	0	0	0		0
		会計年度任用職員	業務量	人	人	人		人
	人件費	0	0	0	0			
	小計(B)	0	0	157	0			
	合計(A+B)	0	0	78,287	0			
	市民1人当たりのコスト(円)	0	0	865	0			

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				目標			
				実績			
	指標化できない成果	保護者負担の軽減		達成			

方向	完了	課題及び改善案	新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時的予算のため評価できない

整理番号	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)06保健体育費(目)04新型感染症対策費(大事業)01新型感染症対策事業	決算書頁
495 -		349

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	623 気軽にスポーツを楽しむことができる	R2 年度～ R2 年度	01-10-06-04-01-03
	基本事業	① スポーツ振興事業	担当部署	部・課名等
	事務事業名	スポーツ活動振興事業	企画振興部スポーツ振興課	評価責任者・連絡先 課長 福森 靖 0595-22-9635

事務事業の概要	対象	市民									
	目的	スポーツ組織・団体を支援する。各種イベント開催を支援し「見るスポーツ」の育成を図る									
	内容	新型コロナウイルスの影響によりイベント等が中止になった地域スポーツコミッションを対象とした活動再開を支援するための助成金 【令和2年度限定】									
事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>負担金・補助金及び交付金</td> <td>4,000,000円</td> <td>地域スポーツコミッションの活動再開支援事業補助金 4,000,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4,000,000円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		経費	金額	摘要	負担金・補助金及び交付金	4,000,000円	地域スポーツコミッションの活動再開支援事業補助金 4,000,000円	計	4,000,000円	
	経費	金額	摘要								
負担金・補助金及び交付金	4,000,000円	地域スポーツコミッションの活動再開支援事業補助金 4,000,000円									
計	4,000,000円										

		項目	R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金			4,000		【国県支出金】 ①地方スポーツ振興費補助金	
		地方債						
		その他						
		一般財源	0	0	0	0		
		合計(A)	0	0	4,000	0		
	事業費	正規職員	業務量	人	人	0.01		0.00
			人件費	0	0	79		0
		再任用職員	業務量	人	人	人		人
			人件費	0	0	0		0
		会計年度任用職員	業務量	人	人	人		人
人件費			0	0	0			
小計(B)			0	0	79	0		
合計(A+B)			0	0	4,079	0		
市民1人当たりのコスト(円)			0	0	46	0		

指標名	指標の説明	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標	活動再開時における来場者数	人	目標				800
			実績				780
指標化できない成果			達成				97.5%

方向	完了	課題及び改善案	新型コロナ感染症により、開幕試合が遅れることにより離れたファン層に対する認知度を高めるため、試合会場でのイベント開催及び、来場せずとも観戦できるよう同時生中継を実施した。またSNSを活用した情報発信を行うなど多くの媒体を活用した。

整理番号	(会計)01一般会計(款)10教育費(項)06保健体育費(目)04新型コロナウイルス対策費(大事業)01新型コロナウイルス対策事業	決算書頁
496 -		349

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	623 気軽にスポーツを楽しむことができる	R2 年度～ R2 年度	01-10-06-04-01-04
	基本事業	② スポーツ施設整備・維持管理事業	担当部署	部・課名等
	事務事業名	体育施設維持管理経費	企画振興部スポーツ振興課	評価責任者・連絡先 課長 福森 靖 0595-22-9635

事務事業の概要	対象	市民(体育施設利用者)		
	目的	施設を安全かつ快適に利用できるよう維持管理の充実を図り、健康増進を図る場として提供する		
	内容	伊賀市体育施設にかかる新型コロナウイルス感染症対策用消耗品の購入		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	消耗品	698,674円	消毒液等	
	計	698,674円		

		項目	R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金					【その他特定財源】 ①伊賀市新型コロナウイルス感染症対策基金繰入金	
		地方債						
		その他			699			
		一般財源	0	0	0	0		
		合計(A)	0	0	699	0		
	事業費	正規職員	業務量	人	人	0.10		人
			人件費	0	0	782		0
		再任用職員	業務量	人	人	人		人
			人件費	0	0	0		0
		会計年度任用職員	業務量	人	人	人		人
小計(B)	0	0	782	0				
合計(A+B)	0	0	1,481	0				
市民1人当たりのコスト(円)			0	0	17	0		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	資器材の整備	体育施設に感染予防のための消毒液などの初期資器材を配備する	配備	目標				配備
				実績				配備
指標化できない成果			達成				100.0%	

方向	完了	課題及び改善案	施設利用者の感染予防のための初期資器材を体育施設に配備を行った。

整理番号	(会計)01一般会計(款)11災害復旧費(項)03その他公共・公用施設災害復旧費(目)01その他公共・公用施設災害復旧費(大事業)01その他公共・公用施設災害復旧事業	決算書頁
497 -		351

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	721 健全な財政運営	H29 年度～ R2 年度	01-11-03-01-01-01
	基本事業	① 持続可能な行財政運営の推進	担当部署	評価責任者・連絡先
事務事業名	(単独)現年発生その他公共・公用施設災害復旧事業(繰越明許費分)		財務部財政課	課長 風隼 徳彰 0595-22-9608

事務事業の概要	対象	市所有の公共・公用施設(農林業・公共土木施設を除く)								
	目的	災害に伴う施設の復旧事業により各施設の現状復旧を行う								
	内容	令和元年度台風19号による阿山第2運動公園法面災害復旧工事								
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事請負費</td> <td>27,482,400円</td> <td>その他・公共施設災害復旧工事費</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>27,482,400円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	工事請負費	27,482,400円	その他・公共施設災害復旧工事費	計	27,482,400円
経費	金額	摘要								
工事請負費	27,482,400円	その他・公共施設災害復旧工事費								
計	27,482,400円									

		項目	R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金				0		
		地方債			27,400	30,000		
		その他						
		一般財源			83	0		
		合計(A)	0	0	27,483	30,000		
	人件費	正規職員	業務量	人	人	人		人
			人件費	0	0	0		0
		再任用職員	業務量	人	人	人		人
			人件費	0	0	0		0
		会計年度任用職員	業務量	人	人	人		人
人件費			0	0	0			
小計(B)	0	0	0	0				
合計(A+B)	0	0	27,483	30,000				
市民1人当たりのコスト(円)		0	0	304	337			

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				目標			
				実績			
	指標化できない成果		達成				

方向	課題及び改善案

整理番号	(会計)02国民健康保険事業特別会計(事業勘定)(款)01総務費(項)01総務管理費(目)01一般管理費(大 事業)02一般管理費	決算書頁
498 -		363

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	112 身近なところで安心して医療を受けることができる	H16 年度～ R2 年度	02-01-01-01-02-01
	基本事業	④ 国民健康保険事業	担当部署	部・課名等 健康福祉部保険年金課
	事務事業名	一般管理費		評価責任者・連絡先 課長 前田 康人 0595-22-9659

事務事業の概要	対象	国民健康保険被保険者		
	目的	国民健康保険被保険者に係る事務		
	内容	<ul style="list-style-type: none"> 国民健康保険の被保険者に対し、8月に被保険者証の更新を行いました。 申請のあった被保険者に限度額適用認定証を交付しました。 保険医療機関等で療養の給付等を受ける場合の被保険者資格の確認について、マイナンバーカードによるオンライン資格確認を導入するため、国民健康保険資格システムの改修を行いました。 伊賀医師会、名賀医師会、三重県歯科医師会伊賀支部に対し、国民健康保険取扱事務費交付金を交付しました。(取扱件数 伊賀医師会 134,597件、名賀医師会 5,721件、歯科医師会伊賀支部 31,791件) 		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	需用費	2,021,104円	消耗品費、印刷製本費	
	役務費	18,604,427円	通信運搬費、手数料	
	委託料	13,712,000円	健康診断等委託料(伊賀市立上野総合市民病院) 83,330円 電算関係委託料((株)松阪電子計算センター他) 11,983,950円 被保険者証封入封緘委託料他(レスター工業株式会社) 1,644,720円	
	備品購入費	31,977円		
	負担金、補助金及び交付金	1,197,360円	国民健康保険取扱事務費交付金	
	積立金	1,346,602円	伊賀市国民健康保険支払準備基金積立金	
	繰出金	10,245,274円	診療施設勘定繰出金	
	計	47,158,744円		

全体コスト(千円)	項目	R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金		11,792	
	地方債					
	その他	1,978	2,946	2,330	2,353	
	一般財源	48,736	33,832	33,235	35,130	
	合計(A)	50,714	48,570	47,159	37,483	
事業費	正規職員	業務量	5.30 人	5.30 人	5.30 人	5.30 人
		人件費	41,319	41,399	41,399	41,150
	再任用職員	業務量	人	人	人	人
		人件費	0	0	0	0
	会計年度任用職員	業務量	人	3.20 人	3.20 人	3.20 人
人件費			6,103	6,103	5,108	
	小計(B)	41,319	47,502	47,502	46,258	
	合計(A+B)	92,033	96,072	94,661	83,741	
	市民1人当たりのコスト(円)	1,004	1,061	1,046	939	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
					目標		
				実績			
	指標化できない成果	事務にかかる経費であり、指標化できない。		達成			

方向	継続	課題及び改善案	国民健康保険事業を円滑に進めていくため、今後も継続していく。

整理番号	(会計)02国民健康保険事業特別会計(事業勘定)(款)01総務費(項)01総務管理費(目)02連合会負担金 (大事業)01連合会負担金	決算書頁
499 -		363

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	112 身近なところで安心して医療を受けることができる	H16 年度～ R2 年度	02-01-01-02-01-01
	基本事業	④ 国民健康保険事業	担当部署	部・課名等
	事務事業名	連合会負担金	健康福祉部保険年金課	評価責任者・連絡先
				課長 前田 康人 0595-22-9659

事務事業の概要	対象	国民健康保険被保険者		
	目的	三重県国民健康保険団体連合会に対し一般事業、保健事業の負担金を支払う		
	内容	三重県国民健康保険団体連合会に対し、負担金を支払いました。		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	負担金、補助及び交付金	3,558,219円	三重県国民健康保険団体連合会一般負担金 1,911,735円 三重県国民健康保険団体連合会保健事業負担金 1,639,481円 三重県国民健康保険団体連合会保険者協議会負担金 7,003円	
	計	3,558,219円		

		項目	R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金						
		地方債						
		その他						
		一般財源	3,598	3,811	3,558	3,725		
		合計(A)	3,598	3,811	3,558	3,725		
	事業費	正規職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
			人件費	4	4	4		4
		再任用職員	業務量	人	人	人		人
			人件費	0	0	0		0
		会計年度任用職員	業務量	人	人	人		人
	人件費		0	0	0			
	小計(B)	4	4	4	4			
	合計(A+B)	3,602	3,815	3,562	3,729			
	市民1人当たりのコスト(円)	40	43	40	42			

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				目標			
				実績			
	指標化できない成果	連合会からの請求に基づく支出のため、指標化できない。		達成			

方向	継続	課題及び改善案	国民健康保険事業を円滑に進めるため、今後も継続していく。

整理番号	(会計)02国民健康保険事業特別会計(事業勘定)(款)01総務費(項)02徴税费(目)01賦課徴収費(大 業)01賦課徴収費	決算書頁
500 -		365

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大業-中業
	施策	112 身近なところで安心して医療を受けることができる	H16 年度～ R2 年度	02-01-02-01-01-01
	基本事業	④ 国民健康保険事業	担当部署	部・課名等
	事務事業名	賦課徴収費	健康福祉部保険年金課	評価責任者・連絡先
				課長 前田 康人 0595-22-9659

事務事業の概要	対象	国民健康保険被保険者		
	目的	国民健康保険税の適正な賦課及び確実な徴収の推進		
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年7月1日を本算定日とし、年間保険税を通知するとともに、年間分を9期(特別徴収は6期)に分け徴収しました。 ・国民健康保険税の納付相談を毎月1回(年12回)実施しました。さらに、保険証の更新時には、夜間の納付相談を2回実施しました。 ・三重県国民健康保険運営方針で、県内各市町の目標収納率について定められており、目標達成に向け、収税課と連携し、納期限内納付の促進、収納対策に努めました。 		
事業に要した主な経費など		経費	金額	摘要
		需用費	115,500円	印刷製本費(納税通知書 随時期)
		役務費	2,708,146円	通信運搬費 2,110,791円 手数料 597,355円
		委託料	1,483,350円	納税通知書作成委託料(ブッキング含む)(レスター工業(株))
		計	4,306,996円	

		項目	R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金						
		地方債						
		その他						
		一般財源	6,523	5,367	4,307	6,022		
		合計(A)	6,523	5,367	4,307	6,022		
	事業費	正規職員	業務量	3.00 人	3.00 人	1.66 人	1.66 人	
			人件費	23,388	23,433	12,967	12,889	
		再任用職員	業務量	人	人	人	人	
			人件費	0	0	0	0	
		会計年度任用職員	業務量	人	0.31 人	0.31 人	0.31 人	
	人件費		592	592	495			
	小計(B)	23,388	24,025	13,559	13,384			
	合計(A+B)	29,911	29,392	17,866	19,406			
	市民1人当たりのコスト(円)	327	325	198	218			

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	収納率	収納額/調定額	%	目標		94.12	94.52	94.92
				実績	94.20	94.14	94.48	95.2
	指標化できない成果		達成		100.0%	100.0%	100.2%	

方向	継続	課題及び改善案	安定した財政運営のためには保険税の確保は重要であり、今後とも納期内納付の啓発促進、口座振替の推進等を継続して行っていきます。また、滞納者の実態を早期に把握し、納付相談及び納付勧奨を行うことで、収納率向上につなげます。新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、令和2年度に引き続き令和3年度も国保税の減免制度の周知を行います。

整理番号	(会計)02国民健康保険事業特別会計(事業勘定)(款)01総務費(項)02徴税费(目)02滞納処分費(大 業)01滞納処分費	決算書頁
501 -		365

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大業-中業
	施策	112 身近なところで安心して医療を受けることができる	H16 年度～ R2 年度	02-01-02-02-01-01
	基本事業	④ 国民健康保険事業	担当部署	部・課名等
	事務事業名	滞納処分費	健康福祉部保険年金課	評価責任者・連絡先
				課長 前田 康人 0595-22-9659

事務事業の概要	対象	国民健康保険被保険者											
	目的	国民健康保険税の滞納処分に関する経費											
	内容	国民健康保険税の滞納処分にかかる参考資料の経費を支払いました。											
	事業に要した 主な経費 など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>需用費</td> <td>9,460円</td> <td>消耗品費</td> <td>9,460円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>9,460円</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要		需用費	9,460円	消耗品費	9,460円	計	9,460円	
経費	金額	摘要											
需用費	9,460円	消耗品費	9,460円										
計	9,460円												

	項目	R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金			
	地方債					
	その他					
	一般財源	39	40	9	40	
	合計(A)	39	40	9	40	
事業費	正規職員	業務量	0.20 人	0.20 人	0.20 人	0.20 人
		人件費	1,560	1,563	1,563	1,553
	再任用職員	業務量	人	人	人	人
		人件費	0	0	0	0
	会計年度任用職員	業務量	人	人	人	人
		人件費		0	0	0
	小計(B)	1,560	1,563	1,563	1,553	
合計(A+B)	1,599	1,603	1,572	1,593		
市民1人当たりのコスト(円)		18	18	18	18	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
				目標				
				実績				
	指標化できない成果	滞納処分にかかる事務経費のため指標化できない。		達成				

方向	継続	課題及び改善案	国民健康保険事業を円滑に進めるため今後も継続していく。

整理番号	(会計)02国民健康保険事業特別会計(事業勘定)(款)01総務費(項)03運営協議会費(目)01運営協議会費(大事業)01運営協議会費	決算書頁
502 -		365

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	112 身近なところで安心して医療を受けることができる	H16 年度～ R2 年度	02-01-03-01-01-01
	基本事業	④ 国民健康保険事業	担当部署	部・課名等
	事務事業名	運営協議会費	健康福祉部保険年金課	評価責任者・連絡先
				課長 前田 康人 0595-22-9659

事務事業の概要	対象	国民健康保険運営協議会委員		
	目的	国民健康保険運営協議会の開催に係る経費を支払う		
	内容	国民健康保険運営協議会の開催に係る経費を支払いました。		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	報酬	258,000円	委員報酬	
	旅費	29,711円		
	通信運搬費	28,077円		
	計	315,788円		

		項目	R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金						
		地方債						
		その他						
		一般財源	310	567	316	575		
		合計(A)	310	567	316	575		
	事業費	正規職員	業務量	0.20 人	0.20 人	0.20 人	0.20 人	
			人件費	1,560	1,563	1,563	1,553	
		再任用職員	業務量	人	人	人	人	
			人件費	0	0	0	0	
		会計年度任用職員	業務量	人	人	0.20 人	0.20 人	
			人件費		0	382	320	
		小計(B)		1,560	1,563	1,945	1,873	
	合計(A+B)		1,870	2,130	2,261	2,448		
市民1人当たりのコスト(円)			21	24	25	28		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				目標			
				実績			
	指標化できない成果	審議会の開催及び委員にかかる費用のため指標化できない。		達成			

方向	継続	課題及び改善案	国民健康保険事業を円滑に進めるため、今後も継続していく。

整理番号	(会計)02国民健康保険事業特別会計(事業勘定)(款)01総務費(項)04趣旨普及費(目)01趣旨普及費(大 事業)01趣旨普及費	決算書頁
503 -		365

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大-事業-中-事業
	施策	112 身近なところで安心して医療を受けることができる	H16 年度～ R2 年度	02-01-04-01-01-01
	基本事業	④ 国民健康保険事業	担当部署	部・課名等
	事務事業名	趣旨普及費	健康福祉部保険年金課	評価責任者・連絡先 課長 前田 康人 0595-22-9659

事務事業の概要	対象	国民健康保険被保険者								
	目的	国民健康保険被保険者に国民健康保険制度を周知する。								
	内容	国民健康保険制度のことを広く知ってもらうため、パンフレット等を購入し、配布しました。								
	事業に要した 主な経費 など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>需用費</td> <td>327,400円</td> <td>消耗品費</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>327,400円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	需用費	327,400円	消耗品費	計	327,400円
経費	金額	摘要								
需用費	327,400円	消耗品費								
計	327,400円									

項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)		
全体コスト(千円)	直接 事業費	国県支出金						
		地方債						
		その他						
		一般財源	716	558	327		558	
		合計(A)	716	558	327		558	
	事業費	正規職員	業務量	0.01 人	0.01 人		0.01 人	0.01 人
			人件費	78	79		79	78
		再任用職員	業務量	人	人		人	人
			人件費	0	0		0	0
		会計年度任 用職員	業務量	人	人		人	人
人件費				0	0	0		
小計(B)	78	79	79	78				
合計(A+B)	794	637	406	636				
市民1人当たりのコスト(円)		9	8	5	8			

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
				目標				
	指標化できない成果	周知にかかる事務経費のため指標化できない。		達成				

方向	継続	課題及び改善案	国民健康保険事業を円滑に進めるため、今後も継続していく。

整理番号	(会計)02国民健康保険事業特別会計(事業勘定)(款)02保険給付費(項)01療養諸費(目)01一般被保険者療養給付費(大業)01一般被保険者療養給付費	決算書頁
504 -		365

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大業-中業
	施策	112 身近なところで安心して医療を受けることができる	H16 年度～ R2 年度	02-02-01-01-01-01
	基本事業	④ 国民健康保険事業	担当部署	部・課名等
	事務事業名	一般被保険者療養給付費	健康福祉部保険年金課	評価責任者・連絡先
				課長 前田 康人 0595-22-9659

事務事業の概要	対象	国民健康保険被保険者		
	目的	一般被保険者診療に係る療養給付費		
	内容	一般被保険者診療に係る療養給付費を支払いました。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	負担金、補助金及び交付金	5,444,760,294円		
	計	5,444,760,294円		

項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
直接事業費	国県支出金	5,729,011	5,808,650	5,444,760	5,729,020	保険給付費等交付金(普通交付金) 5,444,760,294円
	地方債					
	その他					
	一般財源				8,182	
	合計(A)	5,729,011	5,808,650	5,444,760	5,737,202	
事業費	正規職員	業務量	0.02 人	0.02 人	0.02 人	0.02 人
		人件費	156	157	157	156
	再任用職員	業務量	人	人	人	人
		人件費	0	0	0	0
	会計年度任用職員	業務量	人	人	人	人
		人件費		0	0	0
小計(B)	156	157	157	156		
合計(A+B)	5,729,167	5,808,807	5,444,917	5,737,358		
市民1人当たりのコスト(円)		62,490	64,135	60,118	64,276	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
				目標				
				実績				
	指標化できない成果	国保連合会からの請求に基づく支出のため指標化できない。		達成				

方向	継続	課題及び改善案	国民健康保険事業を円滑に進めるため、今後も継続していく。